



Cisco TelePresence System Release 1.4 アドミニストレータ ガイド

July 3, 2008

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。**

**本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。**

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco StadiumVision, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0803R)

Cisco TelePresence System Release 1.4 アドミニストレータ ガイド
Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社 .
All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	ix
概要	ix
対象読者と範囲	ix
このリリースの最新情報	x
前提条件	x
マニュアルの構成と用途	xi
マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン	xi
シスコのテクニカル サポート	xii
Service Request ツールの使用	xii
その他の情報の入手方法	xiii

CHAPTER 1

Cisco TelePresence System Administration の使用方法 1-1

目次	1-1
概要	1-2
System Status	1-3
ナビゲーション	1-5

CHAPTER 2

Device Information 2-1

Device Information 画面	2-2
System Information Details	2-4
詳細なシステム情報	2-4
詳細なステータス情報	2-6

CHAPTER 3

Cisco TelePresence システムの設定 3-1

目次	3-1
はじめに	3-2
IP Settings	3-3
Network Settings	3-3
Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) 設定	3-4
Address Book	3-4
Telephony Settings	3-5
SNMP Settings	3-6
System Settings	3-7

CHAPTER 4

Cisco TelePresence システムのトラブルシューティング	4-1
目次	4-1
はじめに	4-2
Hardware Setup	4-3
ディスプレイ	4-4
カメラ	4-6
スピーカ	4-8
マイクロフォン	4-9
プレゼンテーション デバイス	4-11
Sanyo プロジェクタのセットアップ手順	4-13
その他のデバイス	4-15
ログ ファイル	4-16
Sysop ログ	4-16
ログ ファイル	4-16
SIP Messages	4-16
Audio	4-18
Network Connection	4-19
Configuration Issues	4-19
System Restart	4-20
ネットワーク ケーブル接続のトラブルシューティング	4-20
ビデオ品質の設定	4-22

CHAPTER 5

Cisco TelePresence システムの監視	5-1
目次	5-1
はじめに	5-1
Call Statistics	5-2
Network Statistics	5-2

APPENDIX A

コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンド	A-1
目次	A-1
はじめに	A-1
CLI セッションの開始	A-2
CLI コマンドの基本	A-2
CLI セッションの終了	A-3
CTS の CLI コマンド	A-3
call answer	A-5
call end	A-6
call start	A-6
diag display loopback full disable	A-7

diag display loopback full enable	A-8
diag display loopback full status	A-9
set autoanswer disable	A-10
set autoanswer enable	A-11
set autoanswer external disable	A-12
set autoanswer external enable	A-13
set cert web	A-14
set display disable	A-15
set display enable	A-16
set logging disable	A-17
set logging enable	A-18
set output disable	A-19
set output enable	A-20
set password admin	A-21
set security authstring	A-22
set upgrade camera	A-23
set upgrade disp-driver-1	A-24
set upgrade disp-driver-2	A-25
set upgrade display	A-26
set upgrade firmware	A-27
show call statistics addin	A-28
show call statistics all	A-29
show call statistics audio	A-30
show call statistics video	A-31
show call status	A-32
show cert lsc	A-33
show cert mic	A-34
show cert web	A-35
show config all	A-37
show config phone	A-38
show config system	A-39
show hardware all	A-40
show hardware audio	A-41
show hardware system	A-42
show hardware video	A-43
show inventory	A-44
show myself	A-45
show network all	A-46

show network eth0	A-48
show network route	A-49
show network status	A-50
show secondary status	A-51
show security authstring	A-52
show security info	A-53
show security trustlist	A-54
show status	A-56
show tech network	A-57
show tech runtime	A-58
show tech system	A-59
show timezone config	A-60
show timezone list	A-61
show upgrade	A-62
show version	A-63
unset upgrade camera	A-64
unset upgrade disp-driver-1	A-65
unset upgrade disp-driver-2	A-66
unset upgrade display	A-67
unset upgrade firmware	A-68
utils arp delete	A-69
utils arp list	A-70
utils arp set	A-71
utils network host	A-72
utils network mtr	A-73
utils network ping	A-74
utils network tracert	A-75
utils ntp config	A-76
utils ntp server add	A-77
utils ntp server delete	A-78
utils ntp status	A-79
utils service list	A-80
utils service restart	A-81
utils service start	A-82
utils service stop	A-83
utils system presentation	A-84
utils system reset factory	A-85
utils system restart	A-86

utils system switch-version **A-87**

GLOSSARY

用語集

INDEX

索引



はじめに

First Published: July 3, 2008, OL-13676-03-J

ここでは、このマニュアルの使用方法について説明します。次の項を参照してください。

- [概要 \(P.ix\)](#)
- [対象読者と範囲 \(P.ix\)](#)
- [このリリースの最新情報 \(P.x\)](#)
- [前提条件 \(P.x\)](#)
- [マニュアルの構成と用途 \(P.xi\)](#)
- [マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン \(P.xi\)](#)
- [シスコのテクニカル サポート \(P.xii\)](#)
- [Service Request ツールの使用 \(P.xii\)](#)
- [その他の情報の入手方法 \(P.xiii\)](#)

概要

Cisco TelePresence System (CTS) Release 1.4 Administration ソフトウェアは、CTS と周辺機器の初期設定、保守、および監視を実行するための手段を提供します。『*Cisco TelePresence System Release 1.4 アドミニストレータ ガイド*』では、CTS Release 1.4 Administration ソフトウェアを使用して設定、保守、および監視の各タスクを実行する方法について説明します。

対象読者と範囲

『*Cisco TelePresence System Release 1.4 アドミニストレータ ガイド*』は、CTS を監視し、保守するために CTS Release 1.4 Administration の Web ベースのアプリケーションを使用する管理者を対象としています。

このリリースの最新情報

- **テスト録音**：会議室のすべてのオーディオ（最長 2 分）を録音する機能が CTS で提供されました。この機能は、トラブルシューティングで役立ちます。
- **プレゼンテーション コーデック**：CTS がサポートするコーデックが追加されました。このコーデックでは、ビデオ プレゼンテーションを 1 秒あたり 30 フレームのレートで表示できます。
- **ステータスの詳細**：Status Details タブに、プレゼンテーション コーデックに関する情報が含まれました。また、マイクロフォン、ドキュメント カメラ、およびシステム ステータスの追加情報も含まれました。
- **ハードウェアのトラブルシューティングに関する変更**：Troubleshooting ウィンドウのカメラ、マイクロフォン、およびプレゼンテーション デバイス用の Hardware Setup ページに、新しいトラブルシューティング機能が追加されました。Auxiliary Control Unit (ACU; 補助制御ユニット) についての新しいトラブルシューティング セクションが追加されました。

前提条件

このマニュアルのタスクを開始する前に、次の条件が満たされていることを確認し、記載されている情報について十分に理解してください。

- CTS が、ご使用の Cisco TelePresence システムのアセンブリ マニュアルに従って適切に組み立てられ、配線されている。
- Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) サーバ：デフォルトでは、CTS は DHCP を使用します。CTS がネットワーク接続を確立できるようにするには、DHCP サーバを用意する必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) が稼働し、バージョン 6.0.1 以降のソフトウェアを使用している。
 - Unified CM がノンセキュア モードで稼働している。
 - Unified CM における Cisco TelePresence デバイス名が、文字列「SEP」にデバイスの MAC アドレスが続く形式に従っている。Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) で解決できるように、ホスト名を割り当ててください。
 - Cisco TelePresence と IP Phone の組み合わせごとに、Unified CM ユニット ライセンスを、Cisco Unified IP Phone 7970 に 5 ユニット、Cisco TelePresence ユニットに 6 ユニットの計 11 ユニット使用している。
 - CTS と Cisco Unified IP Phone の両方が Unified CM でシェアラインとして設定されていることを確認する。
- Cisco Unified IP Phone は、Alternative TFTP=NO と設定されている必要がある。Cisco Unified IP Phone 7970 の詳細については、次の URL にあるマニュアルを参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_maintenance_guides_list.html
- MAC アドレス：設置するデバイスの MAC アドレスが既にわかっているか、または使用可能であることを確認する。MAC アドレスは、Cisco Unified IP Phone やその他のハードウェア デバイスを識別する、一意の 12 文字から成る 16 進数です。Cisco TelePresence システムのプライマリ コーデックの背面ラベルに記載された番号を確認してください（たとえば、000B6A409C405）。Unified CM では、MAC アドレスは Cisco Unified IP Phone デバイスを設定するための必須フィールドとなっています。Unified CM のフィールドに MAC アドレスを入力するときは、スペースまたはダッシュを使用しないでください。また、ラベル上で MAC アドレスの前に文字が記載されていても、その文字は含めないでください。

マニュアルの構成と用途

Cisco TelePresence System Release 1.4 Administration アプリケーションの使用に関する情報および手順は、次の章に示されています。

- 第 1 章 「Cisco TelePresence System Administration の使用方法」
- 第 2 章 「Device Information」
- 第 3 章 「Cisco TelePresence システムの設定」
- 第 4 章 「Cisco TelePresence システムのトラブルシューティング」
- 第 5 章 「Cisco TelePresence システムの監視」
- 付録 A 「コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンド」

オンライン ヘルプから『Cisco TelePresence System Release 1.4 アドミニストレータ ガイド』へアクセスする方法については、PDF 版のマニュアルを参照してください。

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン

マニュアルの入手方法、Service Request ツールの使用方法、および追加情報の収集方法については、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。『What's New in Cisco Product Documentation』には、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

Really Simple Syndication (RSS) フィードとして『What's New in Cisco Product Documentation』に登録し、リーダ アプリケーションを使用して、コンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定します。RSS フィードは無料サービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

シスコのテクニカル サポート

次の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。

<http://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。

- テクニカル サポートを受ける
- ソフトウェアをダウンロードする
- セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける
- ツールおよびリソースへアクセスする
 - Product Alert の受信登録
 - Field Notice の受信登録
 - Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索
- Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する
- トレーニング リソースへアクセスする
- TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する

Japan テクニカル サポート Web サイトでは、Technical Support Web サイト (<http://www.cisco.com/techsupport>) の、利用頻度の高い ドキュメントを日本語で提供しています。Japan テクニカル サポート Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

Service Request ツールの使用

Service Request ツールには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

日本語版の Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac/sr/>

シスコの世界各国の連絡先一覧は、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

その他の情報の入手方法

シスコの製品、サービス、テクノロジー、ネットワークング ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインで入手できます。

- シスコの E メール ニュースレターなどの配信申し込みについては、Cisco Subscription Center にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/offer/subscribe>
- 日本語の月刊 Email ニュースレター「Cisco Customer Bridge」については、下記にアクセスください。
http://www.cisco.com/web/JP/news/cisco_news_letter/ccb/
- シスコ製品に関する変更やアップデートの情報を受信するには、Product Alert Tool にアクセスし、プロファイルを作成して情報の配信を希望する製品を選択してください。Product Alert Tool には、次の URL からアクセスできます。
<http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en>
- 『Cisco Product Quick Reference Guide』はリファレンス ツールで、パートナーを通じて販売されている多くのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、製品番号、および簡単な技術仕様が記載されています。『Cisco Product Quick Reference Guide』を発注するには、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/guide>
- ネットワークの運用面の信頼性を向上させることのできる最新の専門的サービス、高度なサービス、リモート サービスに関する情報については、Cisco Services Web サイトを参照してください。Cisco Services Web サイトには、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/go/services>
- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、ロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/go/marketplace/>
- DVD に収録されたシスコの技術マニュアル (Cisco Product Documentation DVD) は、Product Documentation Store で発注できます。Product Documentation Store には、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>
- 日本語マニュアルの DVD は、マニュアルセンターから発注できます。マニュアルセンターには下記よりアクセスください。
http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/manual_center/index.shtml
- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を発行しています。Cisco Press には、次の URL からアクセスできます。
<http://www.ciscopress.com>
- 日本語のシスコプレスの情報は以下にアクセスください。
<http://www.seshop.com/se/ciscopress/default.asp>
- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/ipj>
- 『What's New in Cisco Product Documentation』は、シスコ製品の最新マニュアル リリースに関する情報を提供するオンライン資料です。毎月更新されるこの資料は、製品カテゴリ別にまとめられているため、目的の製品マニュアルを見つけることができます。
<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>
- シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。
http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml



CHAPTER

1

Cisco TelePresence System Administration の使用方法

First Published: July 3, 2008, OL-13676-03-J

目次

- [概要 \(P.1-2\)](#)
- [System Status \(P.1-3\)](#)
- [ナビゲーション \(P.1-5\)](#)

概要

管理者は、Cisco TelePresence System Administration アプリケーションを使用して、Cisco TelePresence システムおよび機器を管理します。管理タスクには、次のものがあります。

- デバイス情報および詳細なシステム ステータス情報の表示
- システム設定値の設定
- Cisco TelePresence システム機器のステータスの監視
- システムのトラブルシューティング

初回のセットアップ手順については、『Cisco TelePresence System Assembly Guide』を参照してください。

図 1-1 に、Cisco TelePresence System Administration ウィンドウを示します。

図 1-1 メインの Cisco TelePresence System Administration ウィンドウ



左パネルでタスク名または矢印をクリックすると、タスクに移動できます。

System Status

System Status は、常に Cisco TelePresence System Administration ウィンドウの左下隅に表示されます。システム管理者は、この領域を厳密に監視して、Cisco TelePresence システムの機能および機器のステータスに変化がないかどうかを確認する必要があります。System Status は 60 秒ごとに更新されます。即時更新するには、ボックスの右上隅にある **Refresh** ボタンをクリックします。詳細なシステム情報を表示するには、ボックスの右上隅にある **Status Detail** ボタン（虫眼鏡のアイコン）をクリックします。



(注) System Information Details ウィンドウに表示される情報は、シスコのテクニカルサポート担当者がシステムの問題をトラブルシューティングする場合に役立ちます。

わかりやすいように、機器の状態がアイコンで表現されます。デバイスの状態に関する詳細情報を表示するには、マウスのカーソルをアイコンの上に移動します。この操作により、ツールチップボックスに情報が表示されます。

次の例を参照してください。



Cameras、Displays、Doc Camera、Projector、および Room IP Phone

System Status ボックスには、カメラ、ディスプレイ、ドキュメンテーション カメラ、プロジェクタ、および会議室の IP Phone に関する次のアイコンが表示され、次の状態を示します。

- 緑色のチェック マーク：デバイスが稼働しています。
- 砂時計：デバイス ステータスが不明または判別中です。
- 壊れたパイプの付いた赤い X：デバイスはアクセス不能の状態です。このアイコンは、プライマリ コーデックがセカンダリ コーデックと通信できない場合に表示されます。
- 赤い X：カメラの場合、このアイコンは、ビデオ ケーブルが接続されていないか緩んでいるとき、またはイーサネット ケーブルが接続されていないときに表示されます。ディスプレイの場合、このアイコンは、ビデオ ケーブルが接続されていないとき、またはディスプレイに電力が供給されていないときに表示されます。プロジェクタの場合、このアイコンは、ビデオ ケーブルが差し込まれていないとき、またはユニットに電力が供給されていないときに表示されます。また、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) で、プロジェクタ /LCD が存在すると指定したが実際には存在しない場合にも、このアイコンが表示されます。CTS 3000 または CTS 3200 を使用している場合は、Unified CM の「Presentation Output Device」パラメータで「出力デバイスなし」と指定したがプロジェクタ /LCD が検出されたときも、このアイコンが表示されます。

Cisco Unified Communications Manager

Cisco Unified Communications Manager は、次のいずれかの状態です。

- OK
- Inaccessible

In a Call

ステータス ボックスでは、会議室がいつコール中であるかが追跡され、アクティブ コールのセキュリティ レベルが表示されます。コール中の場合、セキュリティ レベルは 2 つのエンドポイント間で決定されます。セキュリティ レベルには、5 つのレベルがあります。

- Yes/Encrypted : シグナリングとメディアの両方が暗号化されたアクティブ コール
- Yes/Authenticated : コール シグナリングのみが暗号化されたアクティブ コール
- Yes/Non-Secure : 認証または暗号化されていないアクティブ コール
- Yes/Not Available: アクティブ コールだが、そのコールのセキュリティ レベルは使用不可である
- No : アクティブなコールはない

ナビゲーション

Cisco TelePresence System Administration ウィンドウの左側にあるナビゲーション ペインでは、Configuration、Troubleshooting、および Monitoring の各フォルダにタスクのリストが表示されます。また、ナビゲーション ペインで Configuration、Troubleshooting、または Monitoring をクリックすると、ウィンドウのメイン コンテンツ領域にタスクのリストが表示されます。

どちらの場所でも、強調表示されている名前（たとえば、IP Settings）をクリックすることで、タスクによりすばやくアクセスできます。

図 1-2 に、システム管理タスクにアクセスする方法を示します。

図 1-2 Cisco TelePresence System Administration のタスクの選択



タスクを実行するには、ナビゲーション ペインのドロップダウン リストでタスクを選択するか、大きなウィンドウで強調表示されているテキストをクリックします。

次の各項では、Cisco TelePresence System Administration アプリケーションに関連付けられているウィンドウに表示されるオブジェクト、機能、および情報について説明します。

ヘッダー

すべての Cisco TelePresence System Administration ウィンドウの上部にあるヘッダーには、現在ログインしている人の名前、および次の機能のリンクが表示されます。

- Logout : クリックすると、システムからログアウトします。
- Help : クリックすると、Cisco TelePresence System Administration の使用方法についてのオンライン ヘルプが表示されます。
- About : クリックすると、ソフトウェア バージョンとライセンス情報が表示されます。

コンテンツ領域

右フレームはコンテンツ領域です。コンテンツ領域の上にある灰色のバーにはナビゲーションパスが表示されるため、現在の位置をいつでもすばやく識別できます。

フィールド内の情報の入力と選択

フィールド内の情報を変更するには、マウスを使用して既存の情報を強調表示して削除し、新しい情報を入力します。

一部のフィールドには、設定を選択するためのドロップダウン リストが用意されています。

フィールド内の情報の検証

一部の Cisco TelePresence System Administration ウィンドウには、**Apply** ボタンと **Reset** ボタンがあります。これらのボタンは最初は無効になっています。これらのウィンドウで設定を変更または追加すると、両方のボタンが有効になります。

新しい情報または変更した情報を適用するには、**Apply** ボタンを使用します。

Apply をクリックすると、そのウィンドウ内のすべてのフィールドに対して検証が実施され、フィールド内に無効なデータがある場合はメッセージが表示されます。

変更内容を廃棄して、ウィンドウが最初に表示されたときの値を復元するには、**Reset** ボタンを使用します。

一部の Cisco TelePresence System Administration ウィンドウには、フィールド入力の終了時に検証される情報 (IP アドレス、ドメイン名、メディア ポート番号など) を含むフィールドがあります。フィールド内の情報が無効であることが確認されると、エラーを示すメッセージが表示されます。

ウィンドウ内の情報の検証

ナビゲーション ペインに移動してタスクをクリックすると、Cisco TelePresence System Administration ソフトウェアによって現在のウィンドウ内のデータが確認され、次のようなアクションが実行されます。

- すべての変更内容が保存されている場合は、コンテンツ領域に、要求したウィンドウが表示される。
- 現在のウィンドウに、保存されていない変更内容があり、データが有効な場合は、保存されていない変更内容があることを知らせるメッセージが表示される。**OK** ボタンをクリックすると、変更内容が保存されます。**Cancel** ボタンをクリックすると、データの変更を続行できます。
- 保存されていない変更内容があり、データが無効な場合は、対処法を説明するメッセージが表示され、**OK** ボタンと **Cancel** ボタンが表示される。



(注)

設定を変更し、ナビゲーション ペインで **Apply** をクリックした場合、要求が実現されるまでに少し時間がかかることがあります。保留中の要求が完了するまで待ってから、新しいタスクをクリックしてください。



Device Information

Revised: July 3, 2008, OL-13676-03-J

この章には、次の項があります。

- [Device Information 画面 \(P.2-2 \)](#)
- [System Information Details \(P.2-4 \)](#)

Device Information 画面

Device Information を選択すると、Cisco TelePresence デバイスに関する情報を表示できます。

このウィンドウは、Device Information および Hardware/Software Versions という2つのセクションに分かれています。

Device Information 領域では、システムのソフトウェアおよびハードウェアに関するデータが提供されます。CTS の設定時に指定された設定値および Cisco Unified Communications (Unified CM) アプリケーションから、次の情報が収集されます。

- モデル番号および設定
- Cisco TelePresence 会議室の電話番号
- 会議室の名前
- Cisco TelePresence デバイスの IP アドレスと MAC アドレス

バージョン情報は、現在システムにロードされているハードウェアとソフトウェアのバージョンから収集されます。

Hardware/Software Versions 領域において、青色の太字テキスト (アスタリスク付き) のデータは、現在実行されているソフトウェア イメージを示します。

表 2-1 で、一般的なデバイス情報のフィールドについて説明します。

表 2-1 Device Information のフィールド

フィールドまたはボタン	設定または説明
System Model	CTS モデル。現在、CTS 500 および CTS 1000 (それぞれ1つのディスプレイ)、CTS-3000 および CTS 3200 (それぞれ3つのディスプレイ) の4つの CTS モデルがあります。
System Configuration	このシステムの高解像度ディスプレイの数を示します。
Phone Number	Unified CM に定義されている IP Phone のコールパターン。
Meeting Room	Unified CM に定義された、この特定の CTS が配置されている会議室の名前。
TelePresence MAC Address	プライマリ CTS コーデックの MAC アドレス。
TelePresence Host Name	プライマリ CTS コーデックのホスト名。
TelePresence IP Address	プライマリ CTS コーデックの IP アドレス。
IP Phone MAC Address	Unified CM を使用して入力された IP Phone の MAC アドレス。
IP Phone Host Name	Unified CM を使用して設定された IP Phone のホスト名。
IP Phone IP Address	Unified CM を使用して設定された IP Phone の IP アドレス。
IP Phone Software Version	IP Phone にインストールされているオペレーティング システム ソフトウェアのバージョン。



(注)

詳細情報は、コーデックごとに表示されます。コーデックが1つのシステムの場合、表示される情報はすべて、システムの単一のコーデックに関するものです。3つのコーデックがあるシステムの場合は、左側、中央、および右側のコーデックに関するハードウェアとソフトウェアの情報が表示されます。プレゼンテーション コーデックがあるシステムの場合は、プレゼンテーション コーデックに関するハードウェアとソフトウェアの情報も表示されます。

表 2-2 で、ハードウェアおよびソフトウェアのバージョン情報のフィールドについて説明します。

表 2-2 ハードウェア/ソフトウェア情報フィールド

フィールドまたはボタン	設定または説明
Unit	(2 つ以上のコーデックを持つ Cisco TelePresence System の場合) これ が左側、中央、右側、またはプレゼンテーションのどのコーデックで あるかを示します。
Hardware version	Cisco TelePresence System のコーデックのバージョン番号。
Slot 1 Image / Slot 2 Image	フラッシュ カードには、ソフトウェア用の 3 つのパーティションが設 定されます。スロット 1 とスロット 2 はそれぞれ 1 つずつコーデック ソフトウェアのバージョンを保持します。
Factory Image	工場出荷時に事前にロードされているソフトウェアと、出荷時の設定 をリセットした後にロードされるソフトウェア。

System Information Details

システムに関する詳細なレポートを表示するには、**System Information Details** をクリックします。システムの詳細情報は、System Information Details と Status Details の2つのカテゴリに分類されます。



(注) System Information Details ウィンドウに表示される情報は、シスコのテクニカルサポート担当者がシステムの問題をトラブルシューティングする場合に役立ちます。

詳細なシステム情報

詳細なシステム情報を表示するには、**System Information Details** タブをクリックします。表 2-3 で、System Information Details のフィールドについて説明します。



(注) 詳細なシステム情報は、コーデックごとに表示されます。コーデックが1つのシステムの場合は、システムの単一のコーデックに関するすべての情報が表示されます。コーデックが3つあるシステムの場合は、左側、中央、および右側のコーデックに関するハードウェアとソフトウェアの情報が表示されます。プレゼンテーション コーデックがあるシステムの場合は、プレゼンテーション コーデックに関するハードウェアとソフトウェアの情報も表示されます。

表 2-3 System Information Details のフィールド

フィールドまたはボタン	設定または説明
UDI_Hardware_Ver	固有デバイス識別情報のハードウェアバージョン番号。
UDI_Serial	固有デバイス識別情報のシリアル番号。
UDI_PID	固有デバイス識別情報の製品識別番号。
System_Up_Time	最後のリブート以降のシステムの稼働時間。
OS_Ver	オペレーティングシステムのバージョン番号。
OS_BuildTime	オペレーティングシステムがビルドされた時間。
UBOOT_Ver	ブート プロセスを制御するアプリケーションのバージョン番号。
CF_Model	コンパクトフラッシュ モデル番号。
Camera_PID	カメラ製品識別番号。
Camera_Hardware	カメラのハードウェアバージョン番号。
Camera_Firmware_Ver	カメラのファームウェアバージョン番号。
Camera_Hardware_Ver	カメラのハードウェアバージョン番号。
Camera_BuildTime	カメラのファームウェアバージョンがビルドされた時間。
Document_Camera_Serial	ドキュメント カメラのシリアル番号。
Document_Camera_Hardware_Ver	ドキュメント カメラのハードウェアバージョン番号。
Document_Camera_Model	ドキュメント カメラのモデル番号。
Display_Serial	ディスプレイのシリアル番号。
Display_Hardware_Ver	ディスプレイのハードウェアバージョン番号。
Display_Model	ディスプレイのモデル番号。
Display_BootCode_Ver	AppCode のブート ロードのバージョン番号。また、BootCode は AppCode のアップグレード機能も備えています。

表 2-3 System Information Details のフィールド (続き)

フィールドまたはボタン	設定または説明
Display_AppCode_Ver	AppCode のバージョン番号。AppCode は、監視、制御の管理、および診断機能を備えています。
FPGA_ID	Field Programmable Gate Array (FPGA) 識別番号。
FPGA_Rev	Field Programmable Gate Array (FPGA) リビジョン番号。
FPGA_BuildTime	Field Programmable Gate Array (FPGA) がビルドされた時間。
MainRx_DevID	メイン カメラのデバイス識別番号。
MainRx_Rev	メイン カメラのリビジョン番号。
AuxRx_DevID	補助カメラ (ドキュメント カメラまたは VGA 入力デバイス) のデバイス識別番号。
AuxRx_Rev	補助カメラ (ドキュメント カメラまたは VGA 入力デバイス) のリビジョン番号。
MainTx_DevID	メイン ディスプレイ (プラズマ) のデバイス識別番号。
MainTx_Rev	メイン ディスプレイ (プラズマ) のリビジョン番号。
AuxTx_DevID	補助ディスプレイ (プロジェクタ) のデバイス識別番号。
AuxTx_Rev	補助ディスプレイ (プロジェクタ) のリビジョン番号。
OSD_DEVICE1_BuildTime	オンスクリーンディスプレイ (デバイス 1) のビルド時間。
OSD_DEVICE5_BuildTime	オンスクリーンディスプレイ (デバイス 5) のビルド時間。
VCODEC_encoder_Card_Ver	ビデオ コーデック エンコーダ カードのバージョン番号。
VCODEC_decoder_Card_Ver	ビデオ コーデック デコーダ カードのバージョン番号。
Audio_Hardware_Ver	オーディオ バージョンのハードウェア バージョン番号。
Audio_CPLD_Ver	オーディオ Complex Programmable Logic Device (CPLD) のバージョン番号。
Audio_DSP_BuildID	オーディオ デジタル信号処理のビルド識別番号。
Audio_Clock_Source	オーディオ ストリームとビデオ ストリームを同期するクロック ソース。
PoE_Reset_Available	Power over Ethernet (PoE) リセット機能が使用可能かどうかを示します。
Mfg_Installed_Cert	Cisco Root Certificate Authority によって定義された暗号化用のセキュリティ証明書。
Locally_Significant_Cert	CAPF を通じて取得されたセキュリティ証明書。製造元がインストールしたセキュリティ証明書より優先されます。
Max_Security_Setting	設定済みのセキュリティ設定値。
Aux_Control_Unit_Model	補助制御ユニットのモデル。
Aux_Control_Unit_Ver	補助制御ユニットのシステム ファームウェア バージョン。
Aux_Control_Unit_UDI_Vid	補助制御ユニットの固有デバイス識別情報のバージョン識別番号。
Aux_Control_Unit_UDI_Pid	補助制御ユニットの固有デバイス識別情報の製品識別番号。
Aux_Control_Unit_UDI_Sn	補助制御ユニットの固有デバイス識別情報のシリアル番号。
Projector_Model	プロジェクタのモデル番号 (プロジェクタが設置されている場合)

System Information ペインを閉じるには、Close をクリックします。

詳細なステータス情報

詳細なステータス情報を表示するには、**Status Details** タブをクリックします。



(注) このタブは、Status ペインの Details ボタン (虫眼鏡のアイコン) をクリックして表示することもできます。

Status Details のフィールドは次のとおりです。

Peripheral Status

- **Cameras**
 - Video Cable Connection
 - Ethernet Connection
- **Displays**
 - Status
- **Microphones**
 - Status
- **Document Camera**
 - Video Cable Connection
 - Power Status
 - Ethernet Connection
 - Unified CM Configuration
- **Projector**
 - Video Cable Connection
 - Power Status
 - Unified CM Configuration
 - Status
 - Lamp Age (hours)
 - Lamp Temperature
 - LCD Temperature
 - Ambient Temperature
- **IP Phone**
 - Status

System Status

- Unified CM
- In a call
- Audio/Video Expansion Box
- Auxiliary Control Unit
- **Presentation Codec**
 - Unified CM Configuration
 - Status

**(注)**

詳細なステータス情報は、コーデックごとに表示されます。コーデックが1つのシステムの場合、表示される情報はすべて、システムの単一のコーデックに関するものです。3つのコーデックがあるシステムの場合は、左側、中央、および右側のコーデックに関するハードウェアとソフトウェアの情報が表示されます。プレゼンテーションコーデックがあるシステムの場合は、プレゼンテーションコーデックに関するハードウェアとソフトウェアの情報も表示されます。

**(注)**

稼働していないデバイスまたはエラーが発生しているデバイスの横には、「赤い X」が表示されます。

- ステータス詳細情報を更新するには、**Refresh** をクリックします。
- Status Information ペインを閉じるには、**Close** をクリックします。



CHAPTER

3

Cisco TelePresence システムの設定

First Published: July 3, 2008, OL-13676-03-J

目次

- [IP Settings \(P.3-3 \)](#)
- [Network Settings \(P.3-3 \)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager \(Unified CM \) 設定 \(P.3-4 \)](#)
- [Address Book \(P.3-4 \)](#)
- [Telephony Settings \(P.3-5 \)](#)
- [SNMP Settings \(P.3-6 \)](#)
- [System Settings \(P.3-7 \)](#)

はじめに

図 3-1 に、Configuration ウィンドウで使用可能なオプションを示します。

図 3-1 Configuration ウィンドウ



IP Settings

IP Settings ウィンドウには、Cisco TelePresence システムに指定されている MAC アドレスとホスト名が表示されます。

ネットワーク ソフトウェアは固定アドレスを必要としますが、ダイナミック アドレスが割り当てられる場合、固定アドレスは不要です。ただし、固定アドレスを使用すると、Cisco IP Phone をルータとしてではなく、ネットワーク内のデバイスとして設定および検出できます。

表 3-1 で、ネットワークへの Cisco TelePresence システム アップリンクの IP アドレス設定および DHCP 設定について説明します。

表 3-1 IP Settings

フィールドまたはボタン	設定
MAC Address	CTS プライマリ コーデックの MAC アドレス。
Host Name	CTS プライマリ コーデックのホスト名。
DHCP Enabled	CTS プライマリ コーデックに対して Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) が有効かどうかを示します。
Domain Name	プライマリ コーデックのドメイン名を示します。
Use Static IP Address	CTS プライマリ コーデックが固定 IP アドレスを使用するように設定されているかどうかを示します。
IP Address	Cisco TelePresence システムの IP アドレス。
Subnet Mask	指定されている IP アドレスに使用されるサブネット マスク。
Default Gateway	CTS プライマリ コーデックのデフォルト ゲートウェイ。
DNS Server 1 および DNS Server 2	Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) サーバの IP アドレス。

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

Network Settings

Network Settings を選択すると、Operational VLAN ID および管理 VLAN ID を表示できます。

Operational VLAN ID

このフィールドには、Cisco Unified IP Phone とのネットワークの標準 VLAN ID (表示専用) が表示されます。

Administrative VLAN ID

CTS は、IP アドレスの DHCP 要求を開始する前に、自身の VLAN メンバシップ ID を認識している必要があります。このフィールドには、CTS の管理 VLAN ID が含まれています。

このウィンドウを開いたときに表示された管理 VLAN ID の設定を復元するには、**Reset** をクリックします。

新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。

Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) 設定

Unified CM Settings を選択すると、この Cisco TelePresence システムの Cisco Unified Communications Manager の設定値を表示または設定できます。

表 3-2 で、このウィンドウのフィールドおよび設定について説明します。

表 3-2 Cisco Unified Communications Manager 設定

フィールド	設定
Use Configuration TFTP Server	<ul style="list-style-type: none"> デフォルト状態を設定するには、Automatic をクリックします。その場合、TFTP サーバが、オプション 150 (つまり、ネットワーク内のエンドポイントに Unified CM 設定ファイルの検索場所を示す TFTP サーバのリスト) の DHCP 要求に応答します。 提供される対話形式のフィールドに TFTP サーバの IP アドレスを手動で入力するには、Specify をクリックします。
TFTP Server 1 ~ TFTP Server 5	Use Configuration TFTP Server で Specify を選択すると、TFTP サーバのアドレスを入力できる対話形式のフィールドが提供されます。
Cisco Unified Communications Manager1 ~ Cisco Unified Communications Manager5	最大 5 つの Cisco Unified Communications Manager の名前が表示される表示専用レポート。
CAPF Authentication String	認証局プロキシ関数 (CAPF) 認証文字列。このフィールドに入力される文字列は、Unified CM で入力された CAPF 認証文字列に一致している必要があります。
Certificate Trust List (CTL)	Delete CTL ボタンは、混合認証モードに設定された Unified CM によって CTL が CTS に提供された場合にアクティブになります。CTL のすべてのエントリを削除するには、 Delete CTL をクリックします。

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

関連情報

- Cisco Unified Communications Manager Installation Guide for the Cisco TelePresence System*
- Cisco Unified CallManager Documentation Guide for Release 6.0*

Address Book

Address Book ウィンドウには、Unified CM の設定時に指定された読み取り専用のエントリが表示されます。最大 40 個の会議室から成るリストを作成できます。Unified CM を使用して、Address Book を変更できます。

Telephony Settings

Telephony Settings ウィンドウには、Cisco Unified Communications Manager に設定された Cisco TelePresence システムのテレフォニー設定値に関する読み取り専用の情報が表示されます。Unified CM を使用して、Telephony Settings を変更できます。

表 3-3 で、フィールドと設定について説明します。

表 3-3 Telephony Settings

フィールド	設定
Auto Answer	電話機の自動応答機能が表示されます。Yes は、自動応答が有効になっていることを示します。No は、自動応答が無効になっていることを示します。
Maximum Call Length (mins)	<p>コールに許可される時間（分単位）に対して定義されている制限が表示されます。デフォルト設定値は 0 分です。この場合、コール期間の制限は設定されません。設定できる最大値（分単位）は、10080（7 日）です。</p> <p>設定した時間（分単位）が経過すると、コールは自動的に終了します。デフォルト設定が使用される場合、コールは自動的に終了しません。</p>
DSCP For Audio DSCP For Video	<p>パケットの IP ヘッダー内の Differentiated Services Code Point (DSCP; DiffServ コード ポイント) 値に基づいて Per-Hop Behavior を定義するトラフィック キューイング技術が表示されます。オーディオとビデオの両方のトラフィックに対して、次の DSCP 設定が適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AF11 DSCP (001010) • AF12 DSCP (001100) • AF13 DSCP (001110) • AF21 DSCP (010010) • AF22 DSCP (010100) • AF23 DSCP (010110) • AF31 DSCP (011010) • AF32 DSCP (011100) • AF33 DSCP (011110) • AF41 DSCP (100010) • AF42 DSCP (100100) • AF43 DSCP (100110) • CS1 (precedence 1) DSCP (001000) • CS2 (precedence 2) DSCP (010000) • CS3 (precedence 3) DSCP (011000) • CS4 (precedence 4) DSCP (100000) • CS5 (precedence 5) DSCP (101000) • CS6 (precedence 6) DSCP (110000) • CS7 (precedence 7) DSCP (111000) • Default DSCP (000000) • EF DSCP (101110)

表 3-3 Telephony Settings (続き)

フィールド	設定
Start Media Port	16384 ~ 32766 の範囲で、End Media Port 設定より小さい値である必要があります。
End Media Port	16384 ~ 32766 の範囲で、Start Media Port 設定より大きい値である必要があります。

SNMP Settings

SNMP Settings を選択すると、Cisco TelePresence システムに対して Unified CM で指定されている SNMP 設定の読み取り専用レポートを表示できます。SNMP 設定を変更する必要がある場合は、Unified CM を使用して変更してください。SNMP Settings ウィンドウには、次の情報が表示されます。

- **Engine ID** : ローカルまたはリモートの SNMP エンジンを示します。リモート エージェントの SNMP エンジン ID とユーザ パスワードは、認証およびプライバシーのダイジェストを計算するために使用されます。
- **SNMP Configuration** : この Cisco TelePresence システムに関連付けられている SNMP サーバにアクセスするパラメータ。
- **Trap Receiver Configuration** : この Cisco TelePresence システムがトラップを送信する先のレシーバの SNMP 設定。

System Settings

System Settings を選択すると、Cisco TelePresence システムに対して Unified CM で指定されているシステム設定を表示できます。System Settings を変更する必要がある場合は、Unified CM を使用して変更してください。

表 3-4 で、設定について説明します。

表 3-4 System Settings



フィールド	説明または設定
ユーザ名 / パスワードの設定	
Username	ユーザ名とパスワードが表示されます。
New Password	
New Password (verify)	(注) ユーザ名とパスワードは 5 文字以上 64 文字以下である必要があります。大文字と小文字の英数字、下線、およびダッシュを使用できます。apache、daemon、nobody、operator、および shutdown というユーザ名は使用できません。
品質の設定	
Overall System Quality	このフィールドには、システムの帯域幅と画面解像度が表示されます。帯域幅が広いとビデオ品質が向上しますが、パケットがドロップされてビデオが中断されることがあります。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Highest Detail, Best Motion: 4Mbps 1080p • Highest Detail, Better Motion: 3.5Mbps, 1080p • Highest Detail, Good Motion: 3Mbps, 1080p • High Detail, Best Motion: 3Mbps, 720p • High Detail, Better Motion: 2Mbps, 720p • High Detail, Good Motion: 1Mbps, 720p デフォルトは Highest Detail, Best Motion: 4Mbps 1080p です。
ロケール設定	
Time Zone	ドロップダウン リストから選択して設定した、お住まいの地域の時間帯が表示されます。
Language	CTS に対して設定した言語が表示されます。
Cisco TelePresence システムの設定	
System Type	CTS モデルを示します。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco TelePresence 500 • Cisco TelePresence 1000 • Cisco TelePresence 3000 • Cisco TelePresence 3200
Days Display Not Active	Cisco TelePresence システムのディスプレイがデフォルトでオフ状態を保つ曜日を指定します。オプションは Monday ~ Sunday です。デフォルトは Sunday と Saturday です。

表 3-4 System Settings (続き)

フィールド	説明または設定
Display On Time	Cisco TelePresence システムのディスプレイをオンにする時刻 (ディスプレイはその後オン状態を保つ) を指定します (CCM が設定されている場合)。時刻は 24 時間形式で表示されます。00:00 は夜中の 12:00 を示し、23:59 は午後 11:59 を示します。デフォルトは 07:30 です。デフォルト値をクリアしてフィールドをブランクにすると、各コールの完了後にディスプレイがオフになります。
Display On Duration	「Display On Time」値が定義されている場合に、Cisco TelePresence システムのディスプレイがオン状態を保つ期間を指定します。時刻は 24 時間形式で表示されます。1:30 は 1 時間 30 分を示します。最大値は 24:00 (24 時間) です。デフォルトは 10:30 です。デフォルト値をクリアしてフィールドをブランクにすると、午後 11:59 にディスプレイがオフになります。
 <p>(注) ご使用のバージョンの Unified CM で、Days Display Not Active、Display On Time、および Display On Duration の値を設定できない場合は、これらの機能のデフォルト値が使用されます。</p>	
NTP サーバ	
NTP Server 1 ~ NTP Server 5	NTP は、NTP を使用する外部のネットワーク タイム サーバと Cisco IP テレフォニー サーバのクロックを同期するために使用されます。ネットワーク タイム プロトコル サーバの IP アドレスを最大 5 つまで保持できます。



CHAPTER

4

Cisco TelePresence システムの トラブルシューティング

First Published: July 3, 2008, OL-13676-03-J

目次

- [はじめに \(P.4-2 \)](#)
- [Hardware Setup \(P.4-3 \)](#)
- [ログ ファイル \(P.4-16 \)](#)
- [Audio \(P.4-18 \)](#)
- [Network Connection \(P.4-19 \)](#)
- [Configuration Issues \(P.4-19 \)](#)
- [System Restart \(P.4-20 \)](#)
- [ネットワーク ケーブル接続のトラブルシューティング \(P.4-20 \)](#)
- [ビデオ品質の設定 \(P.4-22 \)](#)

はじめに

会議接続およびネットワーク問題のトラブルシューティングは、Cisco TelePresence システム管理者の最も重要な役割の1つです。Troubleshooting ウィンドウから実行できるハードウェアテストを使用して、システム コンポーネントを定期的にテストできます。問題が検出された場合は、シスコの技術者が問題を分析できるように、ログ ファイルを迅速に収集できます。問題の解決に役立つ追加情報については、この章のトラブルシューティング表を参照してください。



(注) Cisco TelePresence システムのアクティブなコール中に診断を行うことはできません。

図 4-1 に、トラブルシューティング タスクに役立つツールを示します。

図 4-1 Troubleshooting ウィンドウ



Hardware Setup

Cisco TelePresence システムで問題が発生した場合は、Cisco TelePresence Administration アプリケーションが役に立つことがあります。ソフトウェア、ネットワーク、ケーブル接続、または周辺装置の設定が間違っているため、あるいはディスプレイ、カメラ、スピーカ、マイクロフォン、ケーブル、またはコーデックに不具合があるために問題が発生した可能性があります。

Hardware Setup を選択すると、Cisco TelePresence システムの次のコンポーネントに対する対話形式のテストを開始できます。

- [ディスプレイ](#)
- [カメラ](#)
- [スピーカ](#)
- [マイクロフォン](#)
- [プレゼンテーション デバイス](#)
- [その他のデバイス](#)



ヒント

Cisco TelePresence Administration アプリケーションの Hardware Setup 機能はすべて、会議室のディスプレイを使用する必要があります。したがって、トラブルシューティングでは、まず始めに Hardware Setup のディスプレイ テストを使用して、ディスプレイが正しく機能することを確認するようお勧めします。

ディスプレイに正しいイメージが表示されている場合は、必要に応じてカメラまたはスピーカのテストに進むことができます。マイクロフォンのテストはスピーカの正常な機能に依存するため、スピーカをテストしてからマイクロフォンをテストする必要があります。

最初は、このトラブルシューティング方法に従うことをお勧めします。システムの使用経験を積むにつれて、他の有効な方法を見つけることができます。

システム ハードウェアをテストするには、次の操作を行います。

- テストするコンポーネントのオプション ボタンをクリックします。
- Testing ボックスで **Start** をクリックします。
デバイスのテストまたは調整についての詳細情報が必要な場合は、コンテンツ ウィンドウで **Help** をクリックします。
- テストを終了するには、**Stop** をクリックします。



(注)

CTS がコール中でない場合にだけ、トラブルシューティング テストを実行できます。トラブルシューティング テスト中は、コールを発信することも受信することもできません。トラブルシューティングがアクティブなときにコールを発信するには、CTS 会議室の IP Phone で「Override」ソフトキーを押します。

ディスプレイ

ディスプレイ上の色が会議室の照明に合わせて調整されている場合、ディスプレイは正しくセットアップされています。各ディスプレイは、個別にセットアップする必要があります。

- 調整プロセスを開始するには、**Start** をクリックします。

この時点で、会議室の各ディスプレイには、一連の水平な灰色のバーと、そのディスプレイの相対位置が表示されます。会議室の照明の色温度を選択し、**Apply** をクリックします。

明るさのレベルの選択

Cisco TelePresence システムのディスプレイ画面上のイメージを調整するには、会議室の周辺光の色温度を考慮に入れる必要があります。

ほとんどの会議室の光源は、タングステン フィラメントを使用する白熱電球、または蛍光灯です。これらの各光源、およびルーメン単位またはワット単位の光量によって、異なる色温度が生成されます。この色温度は、*冷たい*、*暖かい*、*昼光*などの用語で表現されることもありますが、ケルビン (K) 単位で数値としてより正確に表現できます。

Cisco TelePresence ディスプレイ画面上のイメージの調整で選択できる温度は、次のとおりです。

- 3500 K
- 4000 to 4100 K (推奨設定)
- 5000 K
- 6500 K
- 7500 K

多くの場合、色温度は電球に印刷されています。会議室の電球のタイプおよび色温度を確認できない場合は、ディスプレイ画面上の色およびイメージが実物そっくりに見えるまで、色温度の設定を試行します。

ディスプレイのトラブルシューティング

ディスプレイ上のイメージの問題をトラブルシューティングするには、表 4-1 を使用してください。

表 4-1 ディスプレイの問題に関するトラブルシューティング チャート

問題	考えられる原因	対処方法
Cisco TelePresence 3000/3200 のみ 電源投入時テストで、ディスプレイが間違った順序でオンになると指摘される。通常の電源投入順序は、左のディスプレイ画面、中央のディスプレイ画面、その後右のディスプレイ画面です。	ビデオ ケーブルが、対応するコーデック コネクタに接続されていません。 セカンダリ コーデックからのイーサネット ケーブルが、プライマリ コーデックの正しいポートに差し込まれていません。	各ディスプレイからのケーブルが、対応するコーデックの正しいコネクタに差し込まれていることを確認します。 次のように、ビデオ / ビデオ ケーブルを正しいコーデックのディスプレイ コネクタに差し込みます。 <ul style="list-style-type: none"> 中央のディスプレイをプライマリ コーデックにプラグ接続します。 参加者の左のディスプレイを左のセカンダリ コーデックにプラグ接続します。 参加者の右のディスプレイを右のセカンダリ コーデックにプラグ接続します。
イメージが表示されない。	電源コードが差し込まれていません。 ディスプレイの背面にある電源スイッチがオフになっています。	各ディスプレイの電源接続と電源スイッチを確認します。
イメージが表示されない。	コールとコールの間である場合、ディスプレイにイメージが表示されません。	イメージは表示されません。Web ユーザ インターフェイスからディスプレイ テストを有効にして、ディスプレイをテスト モードにします。
イメージが表示されない。	ビデオ ケーブルが接続されていません。	(CTS 1000 のみ) 各ディスプレイの前面下部にある LED が点灯しており、緑色またはオレンジ色であることを確認します。 ケーブル接続が正しいこと、およびシステムに電力が供給されていることを確認したが、ディスプレイにイメージが表示されない場合は、シスコのテクニカルサポートにお問い合わせください。

カメラ

ディスプレイ画面上でイメージが中央に配置されてイメージの焦点が合っており、ホワイトバランスが設定されている場合、カメラは正しくセットアップされています。Hardware Setup ソフトウェアは、カメラの自動調整機能、およびターゲットを使用してカメラの焦点を微調整する方法を提供します。



(注) 次の調整を行う前に、焦点ターゲットをカメラの前のテーブルに取り付ける必要があります。手順については、ご使用の Cisco TelePresence システムのアセンブリ ガイドに記載されているカメラセットアップ手順を参照してください。

カメラのフードは外れます。次の手順が完了するまで、カメラのフードを取り外しておく必要があります。

- **Troubleshooting** の **Hardware Setup** ページで、**Camera オプション ボタン** をクリックします。
- **Start** をクリックし、カメラのセットアップを開始します。各カメラからの出力が、適切なカメラ ディスプレイ領域に表示されます。
- ディスプレイ画面のイメージの下で **Setup** をクリックし、その画面に関連付けられているカメラの調整を開始します。

このデバイスのテストまたは調整についての詳細情報が必要な場合は、コンテンツ領域で **Help** をクリックするか、またはこの章のトラブルシューティング チャートを参照してください。

カメラの位置合せ

Cisco TelePresence システムには、大きな白いターゲットと、それより小さなターゲットの2つのカメラ ターゲットが付属しています。大きな白いターゲットは、自動調整（ホワイト バランス）を行う前にテーブルに取り付けます。テーブルの縁がディスプレイの両側にあるハッシュ マークの間にあることを確認してください。大きなカメラ ターゲットの組み立てと取り付けの詳細については、ご使用の Cisco TelePresence システムのアセンブリ ガイドを参照してください。

自動調整

- 大きな白いカメラ ターゲットをテーブルに取り付けたら、**Auto Adjust** をクリックします。
この操作により、ソフトウェアがカメラの設定を自動的に調整できます。調整中、ディスプレイにさまざまなイメージおよび色が表示されます。自動調整には、約 20 秒かかります。

カメラの焦点合せ

- 小さなカメラ ターゲットをテーブルに取り付けてから、**Show Focus Target** をクリックします。
- カメラが取り付けられている調整プレート上の3つのねじばね機構を使用して、カメラの焦点を合せます。ねじを調整して、カメラを適切な位置にします。どの方向にも ± 5 度動きます。
- ターゲットに焦点を合せているカメラを手動で調整して、赤いプラス記号とターゲットの中央にあるプラス記号の位置を合せます。ディスプレイの片端にある赤い調整ラインを、ターゲットの対応するラインに合せます。ディスプレイの両側に、2つの小さな赤いハッシュ マークが見えます。ディスプレイの両側にあるハッシュ マークの間の高さでテーブルの縁が合うように、カメラを調整します。
- **Hide Focus Target** をクリックし、アライメント イメージを削除します。
- 調整が完了したら、**Done** をクリックします。

Show All Camera Targets

- Show All Camera Targets をクリックすると、他のカメラと関係なく各カメラの位置を合わせる事ができます。

ビデオ イメージの反転

- Flip Video on Each Display をクリックすると、選択した画面のミラー イメージを表示できます。つまり、出席者が見るイメージをシミュレートできます。この機能を使用して、3 台すべてのカメラの垂直方向の位置が合っていることを確認できます。

カメラのトラブルシューティング

カメラの問題をトラブルシューティングするには、表 4-2 を使用してください。

表 4-2 カメラの問題に関するトラブルシューティング チャート

問題	考えられる原因	対処方法
<p>Cisco TelePresence 3000/3200 のみ</p> <p>カメラのイメージが間違っ たディスプレイに表示される。</p>	<p>ケーブルが、間違っ たコネクタ ポートに差し込まれています。</p>	<p>各カメラからのケーブルが、それぞ れのコーデックの正しいコネクタ に差し込まれていることを確認し ます。</p> <p>各カメラに対して 2 つの接続が行 われます。RJ-45 ケーブルが大きな コネクタに差し込まれ、ビデオ /DVI-I ケーブルが小さなコネクタ に差し込まれます。次のように接続 します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中央のカメラをプライマリ コーデックにプラグ接続しま す。 • 参加者の左のカメラを左のセ カンダリ コーデックにプラグ 接続します。 • 参加者の右のカメラを右のセ カンダリ コーデックにプラグ 接続します。
<p>イメージが正しく配置さ れない。</p>	<p>カメラが正しく位置合せされて いません。</p>	<p>ターゲットを使用して、カメラを調 整し、焦点を合せます。</p>
<p>イメージの色が正しくな い。</p>	<p>ビデオ ケーブルがしっかりと接 続されていません。</p> <p>色の設定が正しくありません。</p>	<p>プラグを強く引いて、プラグが完全 に差し込まれているかどうか確認 します。</p> <p>カメラの調整手順については、ご使 用の Cisco TelePresence システムの アセンブリ ガイドを参照してくだ さい。</p>

表 4-2 カメラの問題に関するトラブルシューティング チャート (続き)

問題	考えられる原因	対処方法
イメージが表示されない。	<p>レンズにキャップが付いています。</p> <p>カメラがプラグ接続されていないか、または正しくプラグ接続されていません。</p>	<p>レンズのキャップを外します。</p> <p>各ディスプレイの電源接続と電源スイッチを確認します。</p> <p>各カメラからのビデオ ケーブルとイーサネット ケーブルが、それぞれのコーデックの正しいコネクタに差し込まれていることを確認します。</p>
イメージが表示されない。	カメラまたはディスプレイが破損しています。	ケーブル接続が正しいこと、電力が供給されていること、およびディスプレイとカメラのテストが実行されたことを確認したが、ディスプレイにイメージが表示されない場合は、シスコのテクニカルサポートにお問い合わせください。

スピーカ

各スピーカから音声がクリアに聞こえる場合、スピーカは正しくセットアップされています。各スピーカを順番に自動でテストするか、手動でテストするかを選択できます。

- Hardware Setup ウィンドウで **Speakers** をクリックし、スピーカのテストを選択します。
- **Start** をクリックし、スピーカのテストを開始します。
- 各スピーカで順番に音声を 5 秒間自動的にテストするには、**Cycle Through Speakers** をクリックします。
- スピーカごとに音声をテストするには、**Manually Step Through Speakers** をクリックします。次のスピーカに進むには、**Next Speaker** をクリックします。

スピーカのトラブルシューティング

スピーカの問題をトラブルシューティングするには、表 4-3 を使用してください。

表 4-3 スピーカの問題に関するトラブルシューティングチャート

問題	考えられる原因	可能な解決策
音声聞こえない。	スピーカ ケーブルが接続されていないか、またはしっかりと接続されていません。	スピーカ ケーブルの赤と黒の二股の各先端が、スピーカの対応するコネクタにしっかりと固定されていることを確認します。 スピーカ ケーブルがプライマリコーデックの正しいレセプタに差し込まれていることを確認します。 プラグを強く引いて、プラグが完全に差し込まれているかどうか確認します。カチッと音がするまで、プラグをしっかりと押し込みます。
Cisco TelePresence 3000/3200 のみ 間違ったスピーカで音声が聞こえる。	スピーカ ケーブルが正しいコネクタに接続されていません。	スピーカ ケーブルがプライマリコーデックの正しいレセプタに差し込まれていることを確認します。すべてのスピーカをプライマリコーデックにプラグ接続します。
音声とビデオが同期しない。	—	シスコのテクニカルサポートにお問い合わせください。

マイクroフォン

各マイクroフォンが音声を拾う場合、マイクroフォンは正しくセットアップされています。このテストを完了するには、各マイクroフォンで音声を提供する必要があります。

Microphone Troubleshooting 画面には、テストに使用できるマイクroフォンの数が表示されます。CTS 1000 の場合、1 つのオーディオメーターが表示された 1 つの画面が現れます。CTS 3000 の場合、それぞれ 1 つずつオーディオメーターが表示された 3 つの画面が現れます。CTS 3200 の場合、設置されているマイクroフォンの数に応じて画面あたり 2 つまたは 3 つのマイクroフォンが表示された 3 つの画面が現れます。上部のマイクroフォンは最前列にあるマイクroフォンを表し、下部のマイクroフォンのアイコンは後列にあるマイクroフォンを表します。

- Hardware Setup ウィンドウで **Microphones** をクリックし、マイクroフォンのテストを選択します。
- **Start** をクリックし、テストを開始します。
- 各マイクroフォンを軽くたたき、対応するディスプレイ画面でオーディオメーターを参照して、音声が拾われていることを確認します。
- **Refresh Microphones Status** (CTS 3200 のみ) をクリックし、すべてのマイクroフォンの接続ステータスを更新します。
- **Stop** をクリックし、テストを終了します。

マイクロフォンのトラブルシューティング

マイクロフォンの問題をトラブルシューティングするには、表 4-4 を使用してください。

表 4-4 マイクロフォンの問題に関するトラブルシューティングチャート

問題	考えられる原因	可能な解決策
音声がかもる。	マイクロフォンの近くにある何か、またはマイクロフォン上の何かは音声をひずませています。	物体をマイクロフォンから遠ざけます。
Cisco TelePresence 3000/3200 のみ 間違ったマイクロフォンで音声が拾われる。	マイクロフォン ケーブルが、対応するコーデックに接続されていません。	マイクロフォンからのケーブルがコーデックの正しいレセプタに差し込まれていることを確認します。すべてのマイクロフォンをプライマリ コーデックにプラグ接続します。
音声が拾われない。	マイクロフォン ケーブルが接続されていないか、またはしっかりと接続されていません。	システムがプラグ接続されており、かつ電源が入っていることを確認します。 マイクロフォンのプラグがプライマリ コーデックの正しいコネクタにしっかりと装着されていることを確認します。 各マイクロフォンの消音ライトが点灯していることを確認します。ライトが消灯している場合は、マイクロフォンがプラグ接続されていません。 マイクロフォンを軽くたたき、音声が拾われるかどうかを確認します。 ケーブル接続が正しいこと、およびシステムに電力が供給されていることを確認したが、マイクロフォンで音声が拾われない場合は、シスコのテクニカルサポートにお問い合わせください。
赤いパイプの付いたマイクロフォン アイコンが表示される。	マイクロフォンが接続されていません。	マイクロフォンが適切にプラグ接続されていることを確認します。
疑問符の付いたマイクロフォン アイコンが表示される。	いずれかのマイクロフォンが接続されていません。	マイクロフォンが適切にプラグ接続されていることを確認します。

プレゼンテーション デバイス

プレゼンテーション用の出力は、プロジェクタまたは LCD によって処理されます。プロジェクタは CTS 3000 および CTS 3200 の標準コンポーネントです。プロジェクタへの入力、VGA 入力デバイス（ラップトップ コンピュータなど）またはドキュメント カメラを通じて提供できます。プレゼンテーション デバイスのトラブルシューティングでは、まず始めにプロジェクタ テスト パターンで、プロジェクタが正しくセットアップされているかどうかを確認してから、必要に応じて VGA およびドキュメント カメラの入力テストを実行します。テスト パターンを使用してこのテストを実行しているときに、テスト パターンが会議室の映写面に表示される場合、プロジェクタは正しくセットアップされています。



(注)

プロジェクタは CTS 1000 には付属していません。ドキュメンテーション カメラは CTS 1000 または CTS 3000 には付属していません。CTS 1000 を購入した場合は、プレゼンテーション用にディスプレイ デバイスを別途購入して取り付けただけ、このテストを実行する必要があります。

- Hardware Setup ウィンドウで **Presentation Devices** をクリックします。
- **Test** オプション ボタンをクリックします。
- **Start** をクリックし、テストを開始します。映写面へのイメージ表示が開始されるまでに最大 15 秒かかることがあります。約 45 秒後に、イメージが完全に表示されます。
- テスト パターンが正しく表示されている場合は、映写面に投影されたグリッドが見えます。グリッドの中央に、一連の水平な灰色のバーが表示されます。グリッドの外側を囲む 1 ピクセル幅の緑色の枠線も表示されます。緑色の枠線が見えない場合、補助制御ユニットが装備されたシステムでは、**Set Projector Defaults** をクリックします。補助制御ユニットが装備されていないシステムでは、プロジェクタのリモート コントロールを使用して、プロジェクタの次の設定を変更します。
 - **Picture adj : Overscan** を 0 に設定
 - **Screen** : Normal
- **Stop** をクリックして、テストを終了します。

VGA またはドキュメント カメラの入力を確認するには、次の操作を行います。

- Hardware Setup ウィンドウで **Presentation Devices** をクリックします。
- 次のオプション ボタンをクリックします。
 - VGA デバイスからの入力をテストする場合 : **VGA** オプション ボタン
 - ドキュメント カメラからの入力をテストする場合 : **Document camera** オプション ボタン
- **Start** をクリックし、テストを開始します。映写面へのイメージ表示が開始されるまでに最大 15 秒かかることがあります。約 45 秒後に、イメージが完全に表示されます。
- 入力イメージが正しく表示されている場合は、映写面に投影されたイメージが見えます。イメージの焦点が合っていない場合は、プロジェクタの焦点リングを使用して、イメージの焦点を合せます。
- **Stop** をクリックし、テストを終了します。

プロジェクタをシスコのデフォルト設定にリセットするには、次の操作を行います。

- **Set Projector Defaults** をクリックします。

プレゼンテーション デバイスのトラブルシューティング

プレゼンテーション デバイスの問題をトラブルシューティングするには、表 4-5 を使用してください。

表 4-5 プレゼンテーション デバイスの問題に関するトラブルシューティング チャート

問題	考えられる原因	可能な解決策
テスト パターンが表示されない。	プロジェクタの電源スイッチがオフになっています。	プロジェクタの電源スイッチを確認します。プロジェクタ オン/オフ ロッカー スイッチを ON 位置に切り替えます。
テスト パターンが表示されない。	電源ケーブルが接続されていません。	プロジェクタ上部の LED が点灯しており、緑色または黄色であることを確認します。LED が点灯していない場合は、電源ケーブルが差し込まれていることを確認します。
テスト パターンが表示されない。	ビデオ ケーブルがプロジェクタまたは CTS プライマリ ユニットに接続されていません。	ビデオ ケーブルが、プロジェクタ、および CTS プライマリ ユニットの正しいコネクタに差し込まれていることを確認します。 ケーブル接続が正しいこと、およびシステムに電力が供給されていることを確認したが、イメージが表示されない場合は、シスコのテクニカルサポートにお問い合わせください。
テスト パターンが表示されない。	プロジェクタが、ビデオ ケーブル コネクタからの入力ではなく、PC 入力を受信するようにセットアップされています。	プロジェクタのリモート コントロールを使用して、プロジェクタを HDMI 入力用に設定します。補助制御ユニットが装備されたシステムの場合は、 Set Projector Defaults をクリックします。
テスト パターンが表示されない。	障害物がプロジェクタのパスを遮っています。	プロジェクタのレンズを遮っている障害物を取り除きます。
テスト パターンが表示されない。	HDMI コネクタがプロジェクタに固定されていません。	HDMI コネクタをしっかりと固定します。
テスト パターンが表示されない。	HDMI コネクタが CTS プライマリ コーデックに固定されていません。	HDMI コネクタをしっかりと固定します。
テスト パターンが表示されない。	HDMI コネクタが CTS プライマリ コーデックの正しいポートに装着されていません。	該当する CTS アセンブリ ガイドの「Routing Power and Signal Cables」にある配線図を確認し、HDMI コネクタを装着する正しいポートを特定します。HDMI コネクタは補助ビデオ出力に接続する必要があります。
プロジェクタのイメージが不鮮明である。	ランプ アイリスを開くように設定する必要があります。	「 Sanyo プロジェクタのセットアップ手順 」の「ランプ アイリスの設定」の手順に従います。



- (注) Cisco TelePresence システムは、会議中に複数の入力デバイスからの情報を表示できます。複数の入力デバイスが情報を送信している場合、プロジェクタは、最後に情報を送信したプレゼンテーション デバイスからの入力を表示します。プロジェクタ画面に入力デバイスのイメージが表示されない場合、VGA デバイスでは、VGA ケーブルをデバイスから抜き、5 秒待ってから再びデバイスに差し込んでみます。ドキュメントカメラでは、カメラの電源を切り、5 秒待ってからカメラを再起動してみます。

Sanyo プロジェクタのセットアップ手順

この手順は、Auxiliary Control Unit (ACU; 補助制御ユニット) が設置されていない場合にだけ必要です。ACU が設置されている場合は、Presentation Devices ページの Set Projector Defaults をクリックすると、プロジェクタをセットアップできます。



- (注) 次の手順は、Sanyo PLV-Z4 および PLV-Z5 プロジェクタに固有です。



- (注) これらのすべての手順が必須であり、順番に実行する必要があります。セットアップ オプションを表示するには、コーデックに接続された VGA ケーブルをラップトップコンピュータに接続するか、Cisco TelePresence System Administration ソフトウェアから Troubleshooting-->Hardware Setup-->Presentation Devices を選択し、トラブルシューティングテストを実行します。

タスク	手順
右側のイメージの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモート コントロールの MENU キーを押します。メイン メニュー画面は 2 列に分かれています。左側の列には設定オプションが表示されます。特定のオプションを強調表示すると、そのオプションの値が右側の列に表示されます。 2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Setting 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Settings サブメニューを選択します。 3. Settings サブメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを押して Advanced Menu を選択します。 4. 右矢印キーを押して、ON を選択します。 5. Settings サブメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを押して Mounting を選択します。右矢印キーを押して、Ceiling を選択します。これで、イメージが右側に表示されます。 6. 左矢印キーを押して、メイン メニューに戻ります。
背景色の設定 (PLV-Z5 プロジェクタの場合のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. メイン メニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Setting 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Settings サブメニューを選択します。上矢印キーおよび下矢印キーを押して、Background を選択します。 2. 希望する色 (または、色なし) が選択されるまで、右矢印キーを押します。 3. 左矢印キーを押して、メイン メニューに戻ります。

タスク	手順
青色の背景の設定 (PLV-Z4 プロジェクタの場合のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. メインメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Setting 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Settings サブメニューを選択します。上矢印キーおよび下矢印キーを押して、Blue Back を選択します。 2. 右矢印キーを押して、OFF または ON を選択します。推奨される設定は、OFF です。 3. 左矢印キーを押して、メインメニューに戻ります。
ディスプレイの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. メインメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Setting 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Settings サブメニューを選択します。上矢印キーおよび下矢印キーを押して、Display を選択します。 2. 右矢印キーを押して、OFF を選択します。 3. 左矢印キーを押して、メインメニューに戻ります。
ロゴの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. メインメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Setting 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Settings サブメニューを選択します。上矢印キーおよび下矢印キーを押して、Logo を選択します。 2. 右矢印キーを押して、OFF を選択します。 3. 左矢印キーを押して、メインメニューに戻ります。
イメージモードの選択	<ol style="list-style-type: none"> 1. メインメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Image 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Image サブメニューを選択します。 2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Vivid を選択します。OK を押します。 3. 左矢印キーを押して、メインメニューに戻ります。
ランプアイリスの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. メインメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Image Adj 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Image Adj サブメニューを選択します。 2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Advanced サブメニューを表示します。OK を押して、Advanced サブメニューを表示します。 3. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Lamp Iris を選択します。 4. OK を押して、Lamp Iris 設定ツールを表示します。右矢印キーまたは左矢印キーを押して OPEN を選択し、その後 OK を押して Advanced サブメニューに戻ります。 5. 左矢印キーを2回押して、メインメニューに戻ります。
レンズアイリスの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. メインメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Image Adj 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Image Adj サブメニューを選択します。 2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Lens Iris を選択します。 3. 右矢印キーを押して、レンズ値の設定ツールを表示します。0になるまで右矢印キーを押し、その後、OK を押して Image Adj サブメニューに戻ります。 4. 左矢印キーを押して、メインメニューに戻ります。
画面サイズの選択	<ol style="list-style-type: none"> 1. メインメニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Screen 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Screen サブメニューを選択します。 2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して Normal を選択し、その後、OK を押します。 3. 左矢印キーを押して、メインメニューに戻ります。

タスク	手順
オーバースキャンの排除	<ol style="list-style-type: none"> 1. メイン メニューで、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Picture Adj 機能を強調表示します。右矢印キーを押して、Picture Adj サブメニューを選択します。 2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、Overscan を選択します。 3. 右矢印キーを押して、オーバースキャン値の設定ツールを表示します。0 になるまで左矢印キーを押し、その後、OK を押して Picture Adj サブメニューに戻ります。 4. 左矢印キーを押して、メイン メニューに戻ります。
ビデオソースの選択	<p>PLV-Z4 の場合：リモートコントロールで HDMI キーを押します。</p> <p>PLV-Z5 の場合：Input 1 が画面上に現れるまで、リモートコントロールで H1/H2 キーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいビデオ イメージが現れない場合は、上矢印キーおよび下矢印キーを使用して Input を選択します。右矢印キーを使用して、Input サブメニューを選択します。 2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、HDMI (Z4) と HDMI 1(Z5) を選択します。 3. 左矢印キーを押して、Input 機能を終了します。

その他のデバイス

補助制御ユニットをチェックするには、**Other Devices** を使用します。補助制御ユニットは、CTS 会議室のディスプレイの周囲にある個々の照明装置を制御します。また、CTS はこれを使用して、より詳細なプロジェクタ ステータス情報を取得したり、プロジェクタをデフォルトに戻したりすることができます。

- Hardware Setup ウィンドウで **Other Devices** をクリックします。
- **Start** オプション ボタンをクリックして、補助制御ユニットにアクセスし、テストを開始します。テストを終了するには、**Stop** をクリックします。
 - 個々の照明装置は、補助制御ユニットの 5 つのポート番号に対応します。特定のポート番号を選択するには、該当するボックスをオンにします。すべてのポート（およびすべての照明装置）を選択するには、**Select All** をクリックします。また、すべてのポートを選択解除するには、**Select None** をクリックします。
 - 各ポートのオン / オフ ステータスを更新するには、**Refresh On/Off Status** ボタンをクリックします。
 - 選択した照明装置をテストするには、**Turn Selected Lights On/Off** をクリックします。
 - 補助制御ユニットの電源を入れ直すには、**Reset Auxiliary Control Unit** をクリックします。

ログファイル

Cisco TelePresence システムから、システム オペレーション (sysop) ログ ファイル、Session Initiation Protocol (SIP; セッション開始プロトコル) メッセージおよびログ ファイルを表示するには、**Log Files** を選択します。それぞれの内容を表示するには、ウィンドウ上部の該当するタブをクリックします。

Sysop ログ

Cisco TelePresence システムのシステム オペレーション (sysop) メッセージ (コール統計情報やコール エラーなどのコール情報) を表示するには、**Sysop Log** を選択します。情報は CTS に保存されており、最大 20 個のファイルがあります。各ファイルには、最大 100,000 文字まで記録できます。

sysop ログ ファイルをダウンロードするには、**Download Sysop Files** をクリックします。その後、CTS Administration ソフトウェアが、sysop ログ ファイルを表示するか、または保存するかの確認を求めるプロンプトを表示します。Sysop ログを表示すると、そのログの最後の 100,000 バイトが表示されます。Sysop ファイルをダウンロードすると、入手可能な Sysop ファイルがすべてダウンロードされます。

ログファイル

Cisco TelePresence システムからログ ファイルを取得するには、**Log Files** を選択します。要求された情報をフォームに入力した後、**Capture Log Files** をクリックして、ログ ファイルを収集します。収集プロセスが完了したら、**Download Log Files** をクリックして、ファイルのダウンロード プロセスを開始します。CTS Administration ソフトウェアが、ログ ファイルを表示するか、または保存するかの確認を求めるプロンプトを表示します。



(注) シスコの技術員がシステムの問題をトラブルシューティングできるように、ログ ファイルをシスコの技術員に送信できます。

SIP Messages

SIP Messages を選択すると、Session Initiation Protocol (SIP; セッション開始プロトコル) メッセージの現在のログ ファイルを表示できます。

SIP の要求 / 応答メソッドを使用して、ネットワーク内のコンポーネント間の通信が確立され、最終的には複数のエンドポイント間のコールまたはセッションが確立されます。

SIP ログ ファイル内の特定のタイプのメッセージを表示するには、次の操作を行います。

- ドロップダウン リストで下向き矢印をクリックし、メッセージ タイプを選択します。
SIP 要求およびメッセージ タイプについては、[表 4-6](#) および [表 4-7](#) を参照してください。
- **Filter** をクリックし、指定したタイプの SIP メッセージを表示します。

再びすべての SIP メッセージを表示するには、ナビゲーション ペインで **SIP Messages** をクリックします。

詳細なメッセージ レポートの生成

SIP メッセージに関連する詳細を表示するには、次のいずれかの操作を行います。

- SIP メッセージを含む行をダブルクリックします。
- SIP メッセージを含む行をクリックして強調表示してから、**Details** ボタンをクリックします。

メッセージの詳細の表示

Details ポップアップ ウィンドウの下部には、そのウィンドウの上部に詳細が示されている SIP メッセージに関連する SIP メッセージが表示されます。そのメッセージの詳細を表示するには、ポップアップ ウィンドウの下部にある行をダブルクリックします。このウィンドウを閉じるには、**Close** をクリックします。

表 4-6 に、Cisco TelePresence System Administration ソフトウェアがサポートする SIP 要求およびメソッドの概要を示します。最初のカラムは、その SIP 要求メッセージまたはメソッドについて説明している RFC を示しています。

表 4-6 サポートされている SIP 要求およびメソッド

RFC	要求/メソッド	説明
3261	ACK	クライアントが INVITE 要求に対する最終応答を受信したことを確認します。
3261	BYE	コールを終了します。発信側または受信側のどちらからでも送信できます。
3261	CANCEL	実行中の検索をキャンセルしますが、現在進行中のコールは終了しません。
2976	INFO	セッション中に生成されたセッション関連の制御情報を、SIP シグナリングパスに従って伝送できるようにします。
3261	INVITE	ユーザまたはサービスにコール セッションへの参加を要求していることを示します。
3265	NOTIFY	サブスクリプションの正常な受け付けまたはリフレッシュの直後に NOTIFY メッセージが送信され、サブスクライバに現在のリソース状態が通知されます。この NOTIFY メッセージは、SUBSCRIBE メッセージが作成したものと同一ダイアログで送信されます。
3261	OPTIONS	サーバの機能を照会します。
3262	PRACK	1xx タイプのメッセージの信頼性を確保します。表 4-7 を参照してください。
3515	REFER	参照された要求の結果に関する通知を、REFER メッセージの送信側が受け取ることができるメカニズムを提供します。
3261	REGISTER	To ヘッダー フィールドに含まれているアドレスを SIP サーバに登録します。
3265	SUBSCRIBE	リモート ノードに現在の状態および状態の更新を要求します。
3311	UPDATE	クライアントがセッションのパラメータを更新できるようにします。ただし、ダイアログの状態には影響を及ぼしません。この要求は、最初の INVITE が完了する前に送信できます。したがって、early ダイアログでセッション パラメータを更新する場合に役立ちます。

SIP は、表 4-7 で説明している応答カテゴリを使用して、表 4-6 の要求に応答します。

表 4-7 SIP 応答カテゴリ

応答カテゴリ	応答タイプ
1xx	情報メッセージ
2xx	成功応答
3xx	リダイレクション応答
4xx	要求失敗応答
5xx	サーバ障害応答
6xx	全般障害応答

長いリスト内の移動

ログ ファイルは、最大 2 MB 分の SIP メッセージを保持することができます。長いリスト内を移動するには、次の操作を行います。

- 特定の数のテーブル行を表示するには、Rows per page の横にある下矢印をクリックします。所定の量をクリックして強調表示し、選択します。
- ログ ファイルの一覧表示が複数ページにわたる場合は、First、<Previous、Next>、または Last ボタンをクリックして目的のページに移動します。
- いずれかのエラー メッセージを削除するには、テーブル エントリの左側にあるオプション ボタンをクリックしてから Clear をクリックします。
- 表示されたすべてのエラー メッセージを削除するには、Clear All をクリックします。

関連項目

SIP については、表 4-6 に記載されている RFC の他に、次のマニュアルも参照してください。

- 『[Guide to Cisco Systems' VoIP Infrastructure Solution for SIP](#)』の「[SIP Messages and Compliance Information for the Cisco VoIP Infrastructure Solution for SIP](#)」の章
- 『[Session Initiation Protocol Gateway Call Flows](#)』の「[SIP Messages and Methods Overview](#)」の章
- 『[Cisco SIP IP Phone 7940/7960 Administrator Guide](#)』の「[What Is Session Initiation Protocol?](#)」の章
- 『[Cisco CallManager System Guide](#)』の「[Understanding Session Initiation Protocol \(SIP\)](#)」の章

Audio

会議室の音声に問題がある場合は、Audio を選択します。音声の問題を報告する場合は、録音を完了し、結果をダウンロードしてから、その結果をシスコのテクニカルサポートに送信してください。

Start Recording Audio をクリックすると、リモートの会議室からのオーディオも含めて、ローカルの会議室のすべてのオーディオの録音を開始できます。録音は、**Stop Audio Recording** をクリックするまで続きます（最長 2 分）。

録音中は、オーディオ アドインの参加者も含めて、両方のエンドポイントで定期的にピープ音が鳴ります。

Network Connection

Network Connection を選択すると、Cisco TelePresence システムのイーサネット接続のデュプレックス設定と自動ネゴシエーション設定を表示および変更できます。

次のネットワーク接続設定を変更できます。

- Auto Negotiation : **On** または **Off** のオプション ボタンをクリックして、デュプレックスおよび回線伝送速度の設定の自動ネゴシエーションを有効または無効にします。自動ネゴシエーションが有効な場合、デュプレックスおよび速度の設定は利用できません。
- Duplex : Auto Negotiation がオフの場合、**Full** または **Half** のオプション ボタンをクリックして、全二重モードまたは半二重モードを設定します。

次に、このウィンドウから指定できるネットワーク設定の概要を示します。

自動ネゴシエーションが有効な場合

デュプレックスおよび速度の設定は利用できません。

自動ネゴシエーションが無効な場合

Duplex を Full または Half に設定できます。速度の設定は読み取り専用です。

新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。

元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

Configuration Issues

Configuration Issues を選択すると、システムをリセットして、工場出荷時のデフォルト ソフトウェア イメージおよびデフォルト設定を使用できます。システムをリセットすると、次の結果が生じます。

- CTS が出荷時のソフトウェア イメージにリセットされる。
- すべての設定内容が工場出荷時のデフォルトにリセットされる。
- リセットの完了に 2 時間以上かかる場合がある。

システムをリセットして工場出荷時のデフォルトを使用する場合は、リセット処理中に Cisco IP Phone に表示されるメッセージを確認してください。



(注)

このタスクは慎重に実行してください。システムがリセットされると、システムを再設定する必要があります。ソフトウェアによってこの要求が実行される前に、工場出荷時のイメージに戻していただくか 2 回確認されます。

青い太字のテキストのデータは、システム内の各コーデックの現在のシステム イメージが置かれている場所を示します。工場出荷時のイメージの場所も表示されます。

- システム イメージを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、**Reset to Factory Image and Factory Configuration...and Restart Cisco TelePresence System...** ボタンをクリックします。

システム イメージの場所が変更され、システムが再起動します。Cisco TelePresence コールが進行中の場合は、コールの終了後に変更が行われます。

System Restart

System Restart を選択すると、システムを再起動できます。*Restart Cisco TelePresence System* ボタンをクリックします。



(注) システムがすぐに再起動します。これは、Cisco TelePresence コールが進行中の場合も同様です。

ネットワーク ケーブル接続のトラブルシューティング

Cisco TelePresence システムの正しいケーブル接続には、次のネットワーク接続が含まれます。

- Cisco TelePresence 3000/3200 の場合、左右のセカンダリ コーデックおよびプレゼンテーション コーデックは、イーサネット ケーブル (RJ-45 コネクタ) を使用してプライマリ ユニットに接続される。
- どの Cisco TelePresence システムでも、Cisco Unified IP Phone は、イーサネット ケーブル (RJ-45 コネクタ) を使用してプライマリ コーデックに接続される。
- イーサネット ケーブル (RJ-45) が、プライマリ コーデックをユーザのネットワークに接続する。

表 4-8 に、接続が正しくない場合に発生する問題と、その問題の解決案を示します。

表 4-8 Cisco TelePresence ネットワーク ケーブル接続に関するトラブルシューティング
チャート

問題	考えられる原因	対処方法
Cisco Unified IP Phone 7970 がオフである。	<p>プライマリ ユニットへの電源がオフになっています。</p> <p>電話機がプライマリ ユニットの電話機ポートに接続されていません。</p> <p>システムが電話機を認識しないか、または電話機が登録されていません。</p> <p>ネットワークがダウンしています。</p>	<p>Cisco TelePresence システムへの電源接続を確認し、システムがオンになっていることを確認します。</p> <p>プライマリ ユニットから Cisco Unified IP Phone 7970 へのケーブル接続を確認します。正しいケーブル接続については、ご使用の Cisco TelePresence システムのアセンブリ ガイドを参照してください。</p> <p>管理端末で Cisco Unified Communications Manager の Web ページにログインします。IP アドレスをクリックし、電話機の登録を確認します。</p> <p>ネットワーク動作を復元します。</p>
Cisco IP Phone 7970 が IP ネットワークに登録されない。	<p>ネットワーク ケーブルがプライマリ ユニットに接続されていません。</p> <p>ネットワーク設定が行われていないか、または正しく行われていません。</p>	<p>管理端末で Cisco Unified Communications Manager の Web ページにログインします。</p> <p>Cisco TelePresence システムおよび Cisco Unified IP Phone 7970 の設定に必要な設定値が指定されていることを確認します。</p>


表 4-8 Cisco TelePresence ネットワーク ケーブル接続に関するトラブルシューティング
チャート (続き)

問題	考えられる原因	対処方法
Cisco IP Phone 7970 が IP ネットワークに登録されない。	Cisco Unified Communications Manager がダウンしているか、または無効です。 ネットワークがダウンしています。	プライマリ ユニットからネットワークへのケーブル接続を確認します。正しいケーブル接続については、ご使用の Cisco TelePresence システムのアセンブリ ガイドを参照してください。Cisco Unified Communications Manager の設定手順については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Installation Guide for the Cisco TelePresence System</i> 』を参照してください。 Cisco Unified Communications Manager を再起動します。 ネットワークを再起動します。
Cisco Telepresence 電話機のアイドル画面が表示されない。	デバイス設定が行われていないか、または正しく行われていません。	管理端末で Cisco Unified Communications Manager の Web ページにログインします。Cisco TelePresence システムおよび Cisco Unified IP Phone 7970 の設定に必要な設定値が指定されていることを確認します。 『 <i>Cisco Unified Communications Manager Installation Guide for the Cisco TelePresence System</i> 』を参照してください。

ビデオ品質の設定

ディスプレイ上のビデオ画像で発生する可能性のある問題を解決するには、表 4-9 を参照してください。

表 4-9 Cisco TelePresence の画面解像度の問題に関するトラブルシューティング チャート

問題	考えられる原因	対処方法
ビデオ画像がきれいに表示されるが、たびたび中断される。	ビデオ品質の設定が高すぎます。	<p>管理端末で Unified CM の Web ページにログインします。ビデオ品質の設定に必要な設定がなされていることを確認します。</p> <p> (注) 帯域幅が広いとビデオ品質が向上しますが、パケットがドロップされてビデオが中断されることがあります。</p> <p>[¶] <i>Cisco Unified Communications Manager Installation Guide for the Cisco TelePresence System</i> を参照してください。</p>



Cisco TelePresence システムの監視

First Published: July 3, 2008, OL-13676-03-J

目次

- [はじめに \(P.5-1 \)](#)
- [Call Statistics \(P.5-2 \)](#)
- [Network Statistics \(P.5-2 \)](#)

はじめに

Cisco TelePresence システムのコール統計情報およびネットワーク統計情報を収集するには、モニタリング タスクを使用します。図 5-1 に、コール統計情報およびネットワーク統計情報のオプションを示します。

図 5-1 Monitoring ウィンドウ



管理者は、次のモニタリング タスクを使用して、Cisco TelePresence システムを維持できます。

- [Call Statistics \(P.5-2 \)](#)
- [Network Statistics \(P.5-2 \)](#)

Call Statistics

Call Statistics を選択すると、コーデックによって収集されたオーディオおよびビデオの統計情報を表示できます。レポートには、収集されている情報のタイプを理解するために役立つ説明が記載されています。

このウィンドウでは、次の 2 つの即時レポートが提供されます。

- **Real Time Call Statistics** : コールが進行中であるかどうかを示します。
- **Historical Call Statistics** : 設定されたビット レートなど、コールに関する履歴情報を示します。

オーディオおよびビデオの詳細な統計情報を表示するには、次のオプションの横にあるボックスをオンにします。次の各レポートでは、重要な統計情報が太字のテキストで強調表示されます。

- **Audio/Video Call: Audio Stream Statistics**
- **Audio/Video Call: Video Stream Statistics**
- **Audio-Only Call: Stream Statistics**

統計情報が表示されるカラムには、自分がまるで会議テーブルに着いてシステムの前で見ているかのようなラベルが付けられています。たとえば、Cisco TelePresence 3000 の場合、ラベルは左、中央、および右のコーデックからの統計情報を示します。また、補助デバイスが接続されている場合は、そのデバイスからの統計情報も示します。

これらのレポートの更新間隔を設定するには、**Refresh** ドロップダウン リストから時間 (分単位) を選択します。

統計情報をすぐに更新するには、**Refresh** をクリックします。

Network Statistics

Network Statistics を選択すると、ネットワークから収集されたパケット伝送統計情報を表示できます。

統計情報が表示されるカラムには、自分がまるでシステムの背後で見ているかのようなラベルが付けられています。たとえば、Cisco TelePresence 3000 または CTS 3200 の場合、ラベルは左、中央、および右のコーデックからの統計情報を示します。

問題を検出するには、最後にこれらの統計情報を確認した後にインクリメントされたエラー カウンタ (たとえば、Receiver Not Okay Errors) を探します。

このレポートの更新間隔を設定するには、Refresh ドロップダウン リストから間隔 (分単位) を選択します。

統計情報をすぐに更新するには、**Refresh** をクリックします。



コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンド

Revised: July 25, 2008, OL-13676-03-J

目次

- [はじめに \(P.A-1\)](#)
- [CLI セッションの開始 \(P.A-2\)](#)
- [CLI コマンドの基本 \(P.A-2\)](#)
- [CLI セッションの終了 \(P.A-3\)](#)
- [CTS の CLI コマンド \(P.A-3\)](#)

はじめに

この章では、Cisco TelePresence System (CTS) の Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) コマンドの使用方法について説明します。

CLI セッションの開始

CTS の CLI には、リモートでのみアクセスできます。CTS に安全に接続するため、パーソナルコンピュータまたはワークステーションから Secure Shell (SSH; セキュア シェル) を使用します。

始める前に、次の情報を用意してください。

- CTS の IP アドレス
- 管理 ID とパスワード

この情報は、CTS にログインするために必要です。



(注) 管理 ID とパスワードは、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) 稼働時に CTS デバイス ページでデフォルト値から変更できます。

CLI セッションを開始するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 リモート システムから、SSH を使用して CTS に安全に接続します。SSH クライアントで、ssh adminname@IP Address の形式で情報を入力します。

- adminname は、管理 ID です。
- IP Address は、CTS の IP アドレスです。

ステップ 2 パスワードの入力を求められたら、パスワードを入力します。

ステップ 3 CLI プロンプト (admin) が表示されます。これで、任意の CLI コマンドを入力できます。



(注) プロンプトは常に「admin」です。

CLI コマンドの基本

- コマンドの先頭部分を入力し、Tab キーを押すと、コマンドの残りの部分が補完されます。
- コマンド全体を入力し、Tab キーを押すと、使用できるすべてのコマンドまたはサブコマンドが表示されます。Tab キーを押して、現在のコマンドラインが繰り返される場合は、追加の拡張コマンドはありません。
- 詳細なヘルプを表示するには、CLI プロンプトで help *command name* を入力します。
- 特定のコマンドのコマンド構文を表示するには、CLI プロンプトで *command name?* を入力します。

CLI セッションの終了

CLI セッションを終了するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 CLI プロンプトで、**quit** と入力します。

CTS の CLI コマンド

Cisco TelePresence システムでは、次の CLI コマンドが使用されます。

- [call answer \(P.A-5 \)](#)
- [call end \(P.A-6 \)](#)
- [call start \(P.A-6 \)](#)
- [diag display loopback full disable \(P.A-7 \)](#)
- [diag display loopback full enable \(P.A-8 \)](#)
- [diag display loopback full status \(P.A-9 \)](#)
- [set autoanswer disable \(P.A-10 \)](#)
- [set autoanswer enable \(P.A-11 \)](#)
- [set autoanswer external disable \(P.A-12 \)](#)
- [set autoanswer external enable \(P.A-13 \)](#)
- [set cert web \(P.A-14 \)](#)
- [set display disable \(P.A-15 \)](#)
- [set display enable \(P.A-16 \)](#)
- [set logging disable \(P.A-17 \)](#)
- [set output disable \(P.A-19 \)](#)
- [set output disable \(P.A-19 \)](#)
- [set output enable \(P.A-20 \)](#)
- [set password admin \(P.A-21 \)](#)
- [set security authstring \(P.A-22 \)](#)
- [set upgrade camera \(P.A-23 \)](#)
- [set upgrade disp-driver-1 \(P.A-24 \)](#)
- [set upgrade disp-driver-2 \(P.A-25 \)](#)
- [set upgrade display \(P.A-26 \)](#)
- [set upgrade firmware \(P.A-27 \)](#)
- [show call statistics addin \(P.A-28 \)](#)
- [show call statistics all \(P.A-29 \)](#)
- [show call statistics audio \(P.A-30 \)](#)
- [show call statistics video \(P.A-31 \)](#)
- [show call status \(P.A-32 \)](#)
- [show cert lsc \(P.A-33 \)](#)
- [show cert mic \(P.A-34 \)](#)
- [show cert web \(P.A-35 \)](#)

- show config all (P.A-37)
- show config phone (P.A-38)
- show config system (P.A-39)
- show hardware all (P.A-40)
- show hardware audio (P.A-41)
- show hardware system (P.A-42)
- show hardware video (P.A-43)
- show inventory (P.A-44)
- show myself (P.A-45)
- show network all (P.A-46)
- show network eth0 (P.A-48)
- show network route (P.A-49)
- show network status (P.A-50)
- show secondary status (P.A-51)
- show security authstring (P.A-52)
- show security info (P.A-53)
- show security trustlist (P.A-54)
- show status (P.A-56)
- show tech network (P.A-57)
- show tech runtime (P.A-58)
- show tech system (P.A-59)
- show timezone config (P.A-60)
- show timezone list (P.A-61)
- show upgrade (P.A-62)
- show version (P.A-63)
- unset upgrade camera (P.A-64)
- unset upgrade disp-driver-1 (P.A-65)
- unset upgrade disp-driver-2 (P.A-66)
- unset upgrade display (P.A-67)
- unset upgrade firmware (P.A-68)
- utils arp delete (P.A-69)
- utils arp list (P.A-70)
- utils arp set (P.A-71)
- utils network host (P.A-72)
- utils network mtr (P.A-73)
- utils network ping (P.A-74)
- utils network tracert (P.A-75)
- utils ntp config (P.A-76)
- utils ntp server add (P.A-77)
- utils ntp server delete (P.A-78)
- utils ntp status (P.A-79)
- utils service list (P.A-80)
- utils service restart (P.A-81)

- [utils service start \(P.A-82 \)](#)
- [utils service stop \(P.A-83 \)](#)
- [utils system presentation \(P.A-84 \)](#)
- [utils system reset factory \(P.A-85 \)](#)
- [utils system restart \(P.A-86 \)](#)
- [utils system switch-version \(P.A-87 \)](#)

call answer

call answer

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 着信コールに応答するために使用します。

例 admin:call answer

関連コマンド

コマンド	説明
call end	1 つまたは複数の現在のコールを終了します。
call start	指定したアドレスへのコールを開始します。

call end

call end

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 1 つまたは複数の現在のコールを終了するために使用します。

例 admin:call end

関連コマンド

コマンド	説明
call answer	着信コールに応答します。
call start	指定したアドレスへのコールを開始します。

call start

call start {address}

シンタックスの説明 *address* 電話番号または IP アドレス。

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 指定したアドレスへのコールを開始するために使用します。

例 admin:call start 10.1.1.1

関連コマンド

コマンド	説明
call answer	着信コールに応答します。
call end	1 つまたは複数の現在のコールを終了します。

diag display loopback full disable

diag display loopback full disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 完全診断表示ループバックを終了するために使用します。

例
admin:diag display loopback full disable
Stopping Display Loopback

関連コマンド

コマンド	説明
diag display loopback full enable	完全診断表示ループバックを開始します。
diag display loopback status	完全診断表示ループバックのステータスを提供します。

diag display loopback full enable

diag display loopback full enable *timeout value*

シンタックスの説明	<i>timeout value</i>	ループバックを実行する時間の長さ (秒)。値の範囲は、10 ~ 3600 です (デフォルトは 60)。
------------------	----------------------	--

コマンドモード	Admin コマンド権限レベル : 1
----------------	------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 完全診断表示ループバックを開始するために使用します。このループバックを実行するには、コーリング サービスを停止する必要があります。



(注) 実行が完了したら、コーリング サービスを忘れずに再開してください。

例

```
admin:diag display loopback full enable timeout 60
Loopback is now running
```

関連コマンド	コマンド	説明
	diag display loopback full disable	完全診断表示ループバックを終了します。
	diag display loopback status	完全診断表示ループバックのステータスを提供します。

diag display loopback full status

diag display loopback full status

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 完全診断表示ループバックのステータスを表示するために使用します。

例
admin:diag display loopback full status
Loopback is not running

関連コマンド

コマンド	説明
diag display loopback full disable	完全診断表示ループバックを終了します。
diag display loopback full enable	完全診断表示ループバックを開始します。

set autoanswer disable

set autoanswer disable

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

着信コールへの応答を自動的に無効にするために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set autoanswer disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set autoanswer enable	着信コールへの応答を自動的に有効にします。

set autoanswer enable

set autoanswer enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 着信コールに自動的に応答するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例
admin:set autoanswer enable

関連コマンド	コマンド	説明
	set autoanswer disable	着信コールへの応答を自動的に無効にします。

set autoanswer external disable

set autoanswer external disable

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

外部からの着信コールへの応答を自動的に無効にするために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set autoanswer external disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set autoanswer external enable	外部からの着信コールへの応答を自動的に有効にします。

set autoanswer external enable

set autoanswer external enable

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

外部からの着信コールに自動的に応答するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set autoanswer external enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set autoanswer external disable	外部からの着信コールへの応答を自動的に無効にします。

set cert web

set cert web

シンタックスの説明 なし**コマンド モード** Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Web インターフェイス証明書を再生成するために使用します。**例** admin:set cert web**関連コマンド**

コマンド	説明
なし	

set display disable

set display disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

コマンド	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイをオフにするために使用します。

例 admin:set display enable

関連コマンド

コマンド	説明
set display enable	ディスプレイをオンにします。

set display enable

set display enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイをオンにするために使用します。

例 admin:set display enable

関連コマンド

コマンド	説明
set display disable	ディスプレイをオフにします。

set logging disable

set logging disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CLI ログに対するログレベルを制御（無効化）するために使用します。

例 admin:set logging disable

関連コマンド	コマンド	説明
	set logging enable	現在の管理アカウントに対してロギングを有効にします。

set logging enable

set logging enable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CLI ログに対するログレベルを制御（有効化）するために使用します。

例 admin:set logging enable

関連コマンド

コマンド	説明
set logging disable	現在の管理アカウントに対してロギングを無効にします。

set output disable

set output disable

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ベルコア TL1 形式での CLI データの出力を無効にするために使用します。

例 admin:set output disable

関連コマンド

コマンド	説明
set output enable	出力を有効にして、応答をベルコア TL1 形式でエコー出力します。

set output enable

set output enable

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

ベルコア TL1 形式での CLI データの出力を有効にするために使用します。このコマンドを使用すると、リモートでの CLI インターフェイスのスクリプト化が容易になります。

例

```
admin:set output enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
set output disable	ベルコア TL1 モードを無効にします。

set password admin

set password admin

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 新しい管理パスワードを設定するために使用します。古いパスワードと新しいパスワードの入力を求められます。



(注) パスワードは 6 文字以上にする必要があり、長さがチェックされます。パスワードとして、辞書に載っているような単語を使用するのは避けてください。名前や、自分の名前またはアカウント名を少し変えただけのものを使用しないでください。

このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:set password admin
Please enter the old password :*****
Please enter the new password :*****
re-enter new password to confirm :*****
```

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

set security authstring

set security authstring *numeric_string*

シンタックスの説明	<i>numeric_string</i>	Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) のデバイス設定と一致する数値の認証文字列
------------------	-----------------------	--

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 4

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CAPF 認証文字列を設定するために使用します。



(注) 認証文字列は、5 桁以上の数値にする必要があります。

例 admin:set security authstring 123456

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

set upgrade camera

set upgrade camera

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン カメラ周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade camera
Setting forced camera upgrade

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

set upgrade disp-driver-1

set upgrade disp-driver-1

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade disp-driver-1
Setting forced display driver 1 upgrade

関連コマンド	コマンド	説明
	set upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置のアップグレードを強制的に実行します。

set upgrade disp-driver-2

set upgrade disp-driver-2

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例

```
admin:set upgrade disp-driver-2
Setting forced display driver 2 upgrade
```

関連コマンド

コマンド	説明
set upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置のアップグレードを強制的に実行します。

set upgrade display

set upgrade display

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade display
Setting forced display upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

set upgrade firmware

set upgrade firmware

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ファームウェア周辺装置のアップグレードを強制的に実行するために使用します。

例
admin:set upgrade firmware
Setting forced firmware upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

show call statistics addin

show call statistics addin [detail | page]

シンタックスの説明	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのオーディオ アドイン統計情報を取得するために使用します。

例

```

admin:show call statistics addin
      Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type      : Audio/Video Call      Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec) : 53                    Direction      : Outgoing
Local Number   : 12345                  Remote Number  : 23456
State          : Answered                Bit Rate      : 4000000 bps,1080p

-- Audio Add-in --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 0.0.0.0:0
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left      Center      Right      Aux
Tx Bytes            0
Tx Packets          0
Rx Bytes            0
Rx Packets          0
Rx Packets Lost    0

```

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics all	コールのすべての統計情報を取得します。
	show call statistics audio	コールのオーディオ統計情報を取得します。
	show call statistics video	コールのビデオ統計情報を取得します。

show call statistics all

show call statistics all [detail | page]

シンタックスの説明	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード Admin
 コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのすべての統計情報を取得するために使用します。

例

```

admin:show call statistics all
      Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type      : Audio/Video Call      Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec) : 53                    Direction      : Outgoing
Local Number   : 12345                  Remote Number  : 23456
State          : Answered                Bit Rate       : 4000000 bps,1080p

-- Audio --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 11.17.126.42:16384
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes            7655120        7655283         7655114         0
Tx Packets          45839         45840           45840           0
Rx Bytes            7491593        7582158         7467858         0
Rx Packets          45131         45678           44988           0
Rx Packets Lost     45            65              13              0

-- Video --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 11.17.126.42:16384
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes            216305260      196115964       288648018       0
Tx Packets          221717         198464           290134           0
Rx Bytes            219270020      223672084       152227219       0
Rx Packets          205040         208662           158232           0
Rx Packets Lost     5069           6798             914              0

-- Audio Add-in --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386      Dst      : 0.0.0.0:0
Latency  Avg : 1                      Period   : 0

Statistics          Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes            0              0                0                0
Tx Packets          0              0                0                0
Rx Bytes            0              0                0                0
Rx Packets          0              0                0                0
Rx Packets Lost     0              0                0                0
  
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics addin	コールのオーディオ アドイン統計情報を取得します。
	show call statistics audio	コールのオーディオ統計情報を取得します。
	show call statistics video	コールのビデオ統計情報を取得します。

show call statistics audio

show call statistics audio [detail | page]

シンタックスの説明	オプション	説明
	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのオーディオ統計情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show call statistics audio
      Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type           : Audio/Video Call      Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec)      : 53                    Direction       : Outgoing
Local Number        : 12345                 Remote Number   : 23456
State                : Answered             Bit Rate        : 4000000 bps,1080p

-- Audio --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16386           Dst      : 11.17.126.42:16384
Latency  Avg : 1                          Period   : 0

Statistics           Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes             7655120       7655283         7655114         0
Tx Packets           45839         45840           45840           0
Rx Bytes             7491593       7582158         7467858         0
Rx Packets           45131         45678           44988           0
Rx Packets Lost      2              3                1                0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics addin	コールのオーディオ アドイン統計情報を取得します。
	show call statistics all	コールのすべての統計情報を取得します。
	show call statistics video	コールのビデオ統計情報を取得します。

show call statistics video

show call statistics video [detail | page]

シンタックスの説明	detail	より詳細なコール統計情報を表示します。
	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

コールのビデオ統計情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show call statistics video

          Call Statistics
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type           : Audio/Video Call   Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec)     : 49                  Direction      : Outgoing
Local Number       : 12345              Remote Number  : 23456
State              : Answered           Bit Rate       : 4000000 bps,1080p

-- Video --
IP Addr  Src : 11.17.126.73:16388      Dst   : 11.17.126.42:16388
Latency  Avg : 0                      Period : 0

Statistics           Left           Center           Right           Aux
Tx Bytes            216305260      196115964       288648018       0
Tx Packets          221717         198464          290134          0
Rx Bytes            219270020      223672084       152227219       0
Rx Packets          205040         208662          158232          0
Rx Packets Lost     5              6               4               0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show call statistics addin	コールのオーディオ アドイン統計情報を取得します。
	show call statistics all	コールのすべての統計情報を取得します。
	show call statistics audio	コールのオーディオ統計情報を取得します。

show call status

show call status

シンタックスの説明 None

コマンド モード Admin
コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン コールのステータスを取得するために使用します。

例

```
admin:show call status

          Call Status
Registered to Cisco Unified Call Manager : Yes
Call in Progress      : Yes

Call Type           : Audio/Video Call   Call Start Time: Jul 12 11:40:35 2007
Duration (sec)     : 23                  Direction      : Outgoing
Local Number       : 12345               Remote Number  : 23456
State              : Answered            Bit Rate       : 4000000 bps,1080p
```

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

show cert lsc

show cert lsc

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Locally Significant Certificate (LSC; ローカルで有効な証明書) の内容を表示するために使用します。

例 admin:show cert lsc

関連コマンド

コマンド	説明
show cert mic	Manufacturing Installed Certificate (MIC; 製造元でインストールされる証明書) の内容を表示します。
show cert web	Web インターフェイス証明書の内容を表示します。

show cert mic

show cert mic

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 製造元でインストールされる証明書 (MIC) の内容を表示するために使用します。

例 admin:show cert mic

関連コマンド

コマンド	説明
show cert lsc	ローカルで有効な証明書 (LSC) の内容を表示します。
show cert web	Web インターフェイス証明書の内容を表示します。

show cert web

show cert web

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Web インターフェイス証明書の内容を表示するために使用します。

show cert web

例

```

admin:show cert web
Certificate:
  Data:
    Version: 3 (0x2)
    Serial Number: 1 (0x1)
    Signature Algorithm: md5WithRSAEncryption
    Issuer: O=Cisco Systems Inc., OU=TSBU, CN=TelePresence-webadmin
    Validity
      Not Before: Jan  1 00:00:13 2006 GMT
      Not After  : Jan  1 00:00:13 2026 GMT
    Subject: O=Cisco Systems Inc., OU=TSBU, CN=TelePresence-webadmin
    Subject Public Key Info:
      Public Key Algorithm: rsaEncryption
      RSA Public Key: (1024 bit)
        Modulus (1024 bit):
          00:97:37:5f:7c:7b:8b:af:5f:a0:5d:b7:4e:0d:37:
          cc:f5:f4:c1:28:4a:5b:13:ba:99:d3:df:c7:53:5d:
          87:10:01:c1:bb:d7:e6:c7:88:bd:dd:d5:2f:b5:08:
          e8:a3:42:6e:1f:3e:50:be:f8:2e:18:8d:1f:c0:0d:
          31:f2:c0:d2:b0:cf:9b:f9:ae:a3:19:80:75:56:df:
          98:9d:c5:3a:b4:65:43:71:33:bc:d3:15:30:10:21:
          d2:f0:d7:5c:00:68:8d:87:f1:35:28:14:e6:13:ae:
          a3:d5:fb:9d:bf:34:7d:a9:c2:cd:94:10:5e:ce:ea:
          86:84:41:ff:e4:ce:d6:77:79
        Exponent: 65537 (0x10001)
      Signature Algorithm: md5WithRSAEncryption
        09:c7:0f:df:fd:df:d0:0b:30:da:60:42:50:cc:4a:4f:f6:a1:
        19:61:3b:a2:9a:b2:5c:1b:ca:f6:80:28:9b:95:f6:12:da:48:
        fa:5e:d9:7a:de:98:1a:7b:b7:79:f7:5b:30:77:ac:d2:65:f7:
        29:40:10:4b:4f:d6:97:04:33:42:ae:17:48:36:cb:4e:b6:5f:
        d7:6b:fc:67:a1:72:2d:a8:c3:cd:44:3a:c8:22:e3:ae:e0:f2:
        05:f4:c8:81:37:73:42:0d:47:0d:9d:43:a1:9f:0a:b3:bb:50:
        00:0a:35:b0:9d:2d:3d:c8:76:69:00:24:9a:42:72:5c:e7:47:
        da:d6
    MD5 Fingerprint=4A:60:E5:98:FC:FF:F7:1B:FA:87:21:53:37:65:A1:6F
  -----BEGIN CERTIFICATE-----
  MIICDCCAXWgAwIBAgIBATANBgkqhkiG9w0BAQQFADBMMRswGQYDVQQKEExJDaXNj
  byBTeXN0ZW1zIEluYy4xDTBALBgNVBAsTBFRRTQlUxHjAcBgNVBAMTFVRLbGVVcmVz
  ZW5jZS13ZWJhZG1pbjAeFw0wNjAxMDEwMDAwMTNaFw0yNjAxMDEwMDAwMTNaMEwx
  GzAZBgNVBAoTEkNpc2NvIFN5c3R1bXMgSW5jLjENMAAGA1UECzMVFNcVTEeMBwG
  A1UEAxMVGVsZVByZXN1bmNlLXd1YmFkbWluMIGfMA0GCSCqGSIB3DQEBAQUAA4GN
  ADCBiQKBgQCXN198e4uvX6Bdt04NN8z19MEoS1sTupnT38dTXyCQAcG71+bHiL3d
  1S+1COijQm4fP1C++C4YjR/ADThywnKwz5v5rqMzGHVW35idxtq0ZUNxM7zTFFTAQ
  IdLw1lwAaI2H8TUoFOYTrqPV+52/NH2pws2UEF7O6oaEQf/kztZ3eQIDAQABMA0G
  CSqGSIB3DQEBAUAA4GBAAnHD9/939ALMnpgQ1DMSk/2orlh06KaslwybyvaAKJuV
  9hLaSPpe2XremBp7t3n3WzB3rNJ19ylAEEtP1pcEM0KuF0g2y062X9dr/Gehci2o
  w81EOsgI467g8gX0yIE3c0INRw2dQ6GfCr07UAAKNbCdLT3IdmkAJJpCclznR9rW
  -----END CERTIFICATE-----

```

関連コマンド

コマンド	説明
show cert lsc	ローカルで有効な証明書 (LSC) の内容を表示します。
show cert mic	製造元でインストールされる証明書 (MIC) の内容を表示します。

show config all

show config all [page]

シンタックスの説明	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 設定情報を取得するために使用します。

例

```

admin:show config all
      System Config
CCM Mode       : CCM
Model          : Cisco TelePresence 1000
Displays       : 1
Load Image     : SIPTS-1.0.0.1.sbn
Time Zone      : Pacific SA Daylight Time
Conference Room : customer room

      Phone Config
Phone Number   : 15019
Phone IP       : 10.16.120.217

```

関連コマンド	コマンド	説明
	show config phone	電話機の設定情報を取得します。
	show config system	システムの設定情報を取得します。

show config phone

show config phone [page]

シンタックスの説明	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	電話機の設定情報を取得するために使用します。
-------------------	------------------------

例	admin:show config phone Phone Config Phone Number : 15019 Phone IP : 10.16.120.217
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show config all	設定情報を取得します。
	show config system	システムの設定情報を取得します。

show config system

show config system [page]

シンタックスの説明	page	コール統計情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	システムの設定情報を取得するために使用します。
-------------------	-------------------------

例	<pre>admin:show config system System Config CCM Mode : CCM Model : Cisco TelePresence 1000 Displays : 1 Load Image : SIPTS-1.0.0.1.sbn Time Zone : Pacific SA Daylight Time Conference Room : customer room</pre>
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show config all	設定情報を取得します。
	show config phone	電話機の設定情報を取得します。

show hardware all

show hardware all

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべてのハードウェア情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware all
Hardware Version      : 0400
Serial Number        : FSJC0537527
Product ID           : CTS-CODEC-PRIM
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware audio	オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware system	システム関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware video	ビデオハードウェア情報をすべて表示します。

show hardware audio

show hardware audio

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware audio
Hardware Version : 4
CPLD Version    : 6
DSP Build ID    : 00.09.000b
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware all	ハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware system	システム関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware video	ビデオハードウェア情報をすべて表示します。

show hardware system

show hardware system

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべてのシステム ハードウェア情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware system
Hardware Version      : 0400
Serial Number         : FSJC0537527
Product ID            : CTS-CODEC-PRIM
...
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show hardware all	ハードウェア情報をすべて表示します。
	show hardware audio	オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示します。
	show hardware video	ビデオ ハードウェア情報をすべて表示します。

show hardware video

show hardware video

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべてのビデオ ハードウェア情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show hardware video
Camera Brand           : Lumenera/pulsar
Camera Model           : 1.0D
Camera Hardware Version : 2
Camera Firmware Version : 306:521
Camera Firmware Image Date : Wed Sep 13 16:21:16 EST 2006
...
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware all	ハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware audio	オーディオ関連のハードウェア情報をすべて表示します。
show hardware system	システム関連のハードウェア情報をすべて表示します。

show inventory

show inventory

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン プラットフォーム インベントリ情報を取得するために使用します。

例 admin:show inventory

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

show myself

show myself

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在のアカウントに関する情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show myself
Your account name is      : test
Your privilege level is   : 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

show network all

show network all [detail | page]

シンタックスの説明	detail	より詳細なネットワーク情報を表示します。
	page	出力を一時停止します。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得するために使用します。このコマンドは、 <code>show network eth0</code> コマンドまたは <code>failover</code> コマンド (有効な場合) <code>show network route</code> コマンド、および <code>show network status</code> コマンドを連結します。
------------	--

例

```

admin:show network all
Ethernet 0 - Primary
DHCP      : enabled          Status      : up
IP Address : 19.16.126.73    IP Mask    : 255.255.254.000
Link Detected: yes         Mode       : Auto enabled, Full, 1000MB/s
VLAN      : 198
Ethernet 0
DHCP      : disable         Status      : up
IP Address : 192.168.0.1     IP Mask    : 255.255.255.000
Link Detected: yes         Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
VLAN      :
Ethernet 0
DHCP      : disable         Status      : up
IP Address : 192.168.1.1     IP Mask    : 255.255.255.000
Link Detected: yes         Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
VLAN      :
Ethernet 1
DHCP      : disable         Status      : down
IP Address :                 IP Mask    :
Link Detected: yes         Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
VLAN      :
Ethernet 2
DHCP      : disable         Status      : up
IP Address : 192.168.2.1     IP Mask    : 255.255.255.000
Link Detected: yes         Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
VLAN      :
Ethernet 3
DHCP      : disable         Status      : up
IP Address : 192.168.3.1     IP Mask    : 255.255.255.000
Link Detected: yes         Mode       : Auto disabled, N/A, N/A
VLAN      :
DNS
Primary   : 171.68.226.120   Secondary  : 171.70.168.183
Options   : timeout:5 attempts:2
Domain    : cisco.com
Gateway   : 10.16.126.1 on Ethernet eth0.198
192.168.3.0/24 dev eth3 proto kernel scope link src 192.168.3.1
192.168.2.0/24 dev eth2 proto kernel scope link src 192.168.2.1
192.168.1.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 192.168.1.1
192.168.0.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 192.168.0.1
10.16.126.0/23 dev eth0.198 proto kernel scope link src 10.16.126.73
default via 10.16.126.1 dev eth0.198
Active Internet connections (w/o servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address          Foreign Address         State
tcp        0      0 localhost:57818        localhost:TSCCA_Ctrl   TIME_WAIT
tcp        0      0 localhost:57819        localhost:TSCCA_Ctrl   TIME_WAIT
...
tcp        0      0 ts1cam2net.local:41788 ts4.local:ssh           TIME_WAIT
Active UNIX domain sockets (w/o servers)
Proto RefCnt Flags           Type           State           I-Node Path
unix    2      [ ]           DGRAM                    3760    /tmp/secCmdSock
...
unix    2      [ ]           DGRAM                    1494

```

関連コマンド

コマンド	説明
show network eth0	イーサネット 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報の一部を取得します。
show network route	基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得します。
show network status	基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得します。

show network eth0

show network eth0 [detail]

シンタックスの説明	detail	イーサネット ポート 0 に関する詳細なネットワーク情報を表示します。
------------------	--------	-------------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	イーサネット ポート 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報を取得するために使用します。
-------------------	--

例	<pre>admin:show network eth0 Ethernet 0 DHCP : no Status : UP IP Address : 128.107.140.8 IP Mask : 255.255.255.000 Link Detected: yes Mode : Auto off, Full, 100MB/s DNS Primary : 171.70.168.183 Secondary : Domain : cisco.com Gateway : 128.107.140.1 on Ethernet 0</pre>
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show network all	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得します。
	show network route	基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得します。
	show network status	基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得します。

show network route

show network route [detail]

シンタックスの説明	detail	詳細なネットワーク ルート情報を表示します。
------------------	--------	------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得するために使用します。

例

```
admin:show network route
10.94.150.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 10.94.150.94
169.254.0.0/16 dev eth0 scope link
default via 10.94.150.1 dev eth0
```

フェールオーバー (NFT) が有効の場合の例 :

```
admin:show network route
10.94.150.0/24 dev bond0 proto kernel scope link src 10.94.150.98
10.94.150.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 10.94.150.98
10.94.150.0/24 dev eth1 proto kernel scope link src 10.94.150.98
169.254.0.0/16 dev bond0 scope link
default via 10.94.150.1 dev bond0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show network all	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得します。
	show network eth0	イーサネット 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報の一部を取得します。
	show network status	基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得します。

show network status

show network status [detail | listen | process | all | nodns | search *text*]

シンタックスの説明		
detail		追加のステータス情報を表示します。
listen		リスニング ソケットだけを表示します。
process		各ソケットが属するプログラムのプロセス ID と名前を表示します。
all		リスニング ソケットと非リスニング ソケットの両方を表示します。
nodns		数値アドレスを DNS 情報なしで表示します。
search <i>text</i>		出力内の <i>text</i> 文字列を検索します。

コマンド モード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

基本的なプラットフォーム ネットワーク ステータス情報の一部を取得するために使用します。



(注) search オプションに続けてテキスト文字列を指定する必要があります。この文字列には、スペースまたはタブを含めることはできません。大文字と小文字は区別されます。

例

```
admin:show network status
Active Internet connections (w/o servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address           Foreign Address         State
tcp        0      0 vvl-rush.cisco.com:40266 vvl-rush.cisco:vv1_rush_ccm
ESTABLISHED
tcp        0      0 localhost:32824         localhost:8001
ESTABLISHED
:
:
```

Example with text string:

```
admin:show network status search cisco.com
tcp        0      0 vvl-rush.cisco.com:38775 vvl-rush.cisco:vv1_rush_ccm
ESTABLISHED
tcp        0      0 vvl-rush.cisco.com:ssh   philly.cisco.com:48528
ESTABLISHED
tcp        0      0 vvl-rush.cisco.com:46993 vvl-rush.cisco.com:32812  TIME_WAIT
:
:
```

関連コマンド

コマンド	説明
show network all	基本的なプラットフォーム ネットワーク情報をすべて取得します。
show network eth0	イーサネット 0 に関する基本的なプラットフォーム ネットワーク情報の一部を取得します。
show network route	基本的なプラットフォーム ネットワーク ルート情報の一部を取得します。

show secondary status

show secondary status

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン セカンダリ コードックのステータスを取得するために使用します。

例

```
admin:show secondary status
testing left...
    secondary is still booting

testing right...
    secondary is up
```

関連コマンド

コマンド	説明
show status	基本的なプラットフォーム ステータス情報を取得します。

show security authstring

show security authstring

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン CAPF 認証文字列を表示するために使用します。

例
admin:show security authstring
123456

関連コマンド	コマンド	説明
	show security info	セキュリティ情報を表示します。
	show security trust list	セキュリティ信頼リストを表示します。

show security info

show security info [page]

シンタックスの説明	page	セキュリティ情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	----------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	セキュリティ情報を表示するために使用します。
-------------------	------------------------

例	<pre>admin:show security info security information ===== version : 1.0 [Apr 30 2007, 14:05:07] MIC : yes LSC : NO device sec mode : 1 (auth) num CTL entries : 4 timers in use : 0 timers sockets in use : 3 sockets clnt SSL in use : 0 clnt SSL active reqs. : 0 reqs. info o/p on : none debug o/p on : none verbose o/p on : none</pre>
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	show security authstring	CAPF 認証文字列を表示します。
	show security trust list	セキュリティ信頼リストを表示します。

show security trustlist

show security trustlist [page]

シンタックスの説明	page	セキュリティ情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	----------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	セキュリティ信頼リストを表示するために使用します。
-------------------	---------------------------

例

```

admin:show security trustlist
ctl info
=====
  ctl file (if any)      : /nv/security/ctl/CTLFile.tlv
  hash of CTL (16 bytes):
  max allowed entries   : 32
  max allowed entries   : 32
  num current entries   : 4
  CTS has CTL
  CTL table entries:
  CTL-tbl [0]
    role: 0 (SAST)
    ip  : n/a
    dns :
    sub : cn="SAST-ADN418e4e14          ";ou=IPCBU;o="Cisco Systems
    iss : cn=CAP-RTP-001;o=Cisco Systems
    ser : available, 10 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 933 bytes
  CTL-tbl [1]
    role: 0 (SAST)
    ip  : n/a
    dns :
    sub : cn="SAST-ADN47ece814          ";ou=IPCBU;o="Cisco Systems
    iss : cn=CAP-RTP-002;o=Cisco Systems
    ser : available, 10 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 907 bytes
  CTL-tbl [2]
    role: 2 (CCM_TFTP)
    ip  : 171.28.176.239
    dns : test-cm5-10
    sub : cn=test-cm5-10.cisco.com
    iss : cn=test-cm5-10.cisco.com
    ser : available, 8 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 578 bytes
  CTL-tbl [3]
    role: 4 (CAPF)
    ip  : 171.28.176.239
    dns : test-cm5-10
    sub : cn=CAPF-45131e4a;o=cisco
    iss : cn=CAPF-45131e4a;o=cisco
    ser : available, 8 bytes
    pkey: available, 140 bytes
    sig : n/a
    hash: n/a
    cert: available, 626 bytes

```

関連コマンド

コマンド	説明
show security authstring	CAPF 認証文字列を表示します。
show security info	セキュリティ情報を表示します。

show status

show status

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin
コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 基本的なプラットフォーム ステータス情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show status
Host Name      : testsys
Date           : Thu Jun 24, 2004 12:55:01
Time Zone      : PDT
Locale         : en_US.UTF-8
Product Ver    : 5.0.1.14-2
Platform Ver   : 2.0.0.0-1

Resources
CPU           Idle: 100.00%   System: 00.00%   User: 00.00%

                Total           Free           Used
Memory          254984K         72964K         182020K
Disk/active     3020140K        1580608K       1286116K (45%)
Disk/inactive   3020172K        2833924K       32828K (2%)
Disk/logging    11290072K       10017808K      698748K (7%)
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show secondary status	セカンダリ コードブックのステータスを取得します。

show tech network

show tech network [page]

シンタックスの説明	page	ネットワーク情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	----------------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	マシンのネットワークに関する側面を表示するために使用します。
-------------------	--------------------------------

例	admin:show tech network
----------	-------------------------

関連コマンド	コマンド	説明
	show tech runtime	マシンのランタイムに関する側面を表示します。
	show tech system	マシンのシステムに関する側面を表示します。

show tech runtime

show tech runtime [page]

シンタックスの説明	page	ランタイム情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	---------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	マシンのランタイムに関する側面を表示するために使用します。
-------------------	-------------------------------

例	admin:show tech network
----------	-------------------------

関連コマンド	コマンド	説明
	show tech network	マシンのネットワークに関する側面を表示します。
	show tech system	マシンのシステムに関する側面を表示します。

show tech system

show tech system [page]

シンタックスの説明	page	システム情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	--------------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	マシンのシステムに関する側面を表示するために使用します。
-------------------	------------------------------

例	admin:show tech system
----------	------------------------

関連コマンド	コマンド	説明
	show tech network	マシンのネットワークに関する側面を表示します。
	show tech runtime	マシンのランタイムに関する側面を表示します。

show timezone config

show timezone config

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在の時間帯設定をロング形式で表示するために使用します。

例
admin:show timezone config
Current timezone: (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney

関連コマンド	コマンド	説明
	set timezone list	使用可能なすべての時間帯をロング形式でリストします。

show timezone list

show timezone list [page]

シンタックスの説明	page	システム情報を 1 ページ出力したら、出力を一時停止します。
------------------	------	--------------------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	使用可能なすべての時間帯をロング形式で一覧するために使用します。
-------------------	----------------------------------

例	<pre>admin:show timezone list (GMT-12:00) Eniwetok, Kwajalein (GMT-11:00) Midway Island, Samoa (GMT-10:00) Hawaii : : (GMT+12:00) Auckland, Wellington (GMT+13:00) Nuku\27alofa Current timezone: (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney</pre>
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	show timezone config	現在の時間帯設定をロング形式で表示します。

show upgrade

show upgrade [detail]

シンタックスの説明	detail	アップグレードに関する詳細な情報を表示します。
------------------	--------	-------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	アップグレードのステータスを表示するために使用します。
-------------------	-----------------------------

例	<pre>admin:show upgrade There are no peripherals being upgrade at this time left sub system... There are no peripherals being upgrade at this time right sub system... There are no peripherals being upgrade at this time</pre>
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

show version

show version

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システム上のソフトウェアのバージョン番号を取得するために使用します。現在ブートされているバージョンの横にアスタリスクが示されます。

例

```
admin:show version
Slot0 = SIPTS 1.0.0.201
*Slot1 = SIPTS 1.0.2.101
Slot2 = SIPTS 1.0.1.045
```

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

unset upgrade camera

unset upgrade camera

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン カメラ周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例

```
admin:unset upgrade camera
Unsetting forced camera upgrade
```

関連コマンド

コマンド	説明
なし	

unset upgrade disp-driver-1

unset upgrade disp-driver-1

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade disp-driver-1
Unsetting forced display driver 1 upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade display	ディスプレイ周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade firmware	ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

unset upgrade disp-driver-2

unset upgrade disp-driver-2

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
 admin:unset upgrade disp-driver-2
 Unsetting forced display driver 2 upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade display	ディスプレイ周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade firmware	ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

unset upgrade display

unset upgrade display

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ディスプレイ周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade display
Unsetting forced display upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade firmware	ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

unset upgrade firmware

unset upgrade firmware

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 3

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ファームウェア周辺装置の強制アップグレードをクリアするために使用します。

例
admin:unset upgrade firmware
Unsetting forced firmware upgrade

関連コマンド

コマンド	説明
unset upgrade disp-driver-1	ディスプレイ ドライバ 1 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade disp-driver-2	ディスプレイ ドライバ 2 周辺装置の強制アップグレードをクリアします。
unset upgrade display	ディスプレイ周辺装置の強制アップグレードをクリアします。

utils arp delete

utils network arp delete *host*

シンタックスの説明	<i>host</i>	削除するホストの名前またはドット付き IP アドレス。
------------------	-------------	-----------------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	アドレス解決プロトコル テーブル内のエントリを削除するために使用します。
-------------------	--------------------------------------

例	admin: utils network arp delete myhost
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	utils arp list	アドレス解決プロトコル テーブルの内容を一覧します。
	utils arp set	アドレス解決プロトコル テーブルにエントリを設定します。

utils arp list

utils network arp list [*host hostname*][*numeric*]

シンタックスの説明	<i>host hostname</i>	特定のホスト (host) を一覧することを指定し、そのホストのホスト名 (hostname) を指定します。
	<i>numeric</i>	ホストをドット付き IP アドレスとして表示します。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン アドレス解決プロトコル テーブルの内容を一覧するために使用します。オプション キーワードの *numeric* を選択した場合、ホスト名はドット付き IP アドレスとして表示されます。

Flags カラムの表示は次のとおりです。

- C : キャッシュ済み
- M : 永続
- P : 公開済み

例

```
admin: utils network arp list
Address          HWtype  HWaddress           Flags Mask          Iface
sjc21-3f-hsrp.cisco.com ether    00:00:0C:07:AC:71   C                  eth0
philly.cisco.com ether    00:D0:B7:85:98:8E   C                  eth0
Entries: 2      Skipped: 0      Found: 2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils arp delete	アドレス解決プロトコル テーブルのエントリを削除します。
	utils arp set	アドレス解決プロトコル テーブルにエントリを設定します。

utils arp set

utils network arp set *host addr*

シンタックスの説明		
	<i>host</i>	追加するホストの名前またはドット付き IP アドレス。
	<i>addr</i>	追加するホストのハードウェア アドレス (MAC)。 形式は XX:XX:XX:XX:XX:XX です。

コマンドモード	
	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン アドレス解決プロトコル テーブルにエントリを設定するために使用します。

例
admin: utils network arp set myhost 11:22:33:44:55:66

関連コマンド	コマンド	説明
	utils arp delete	アドレス解決プロトコル テーブルのエントリを削除します。
	utils arp list	アドレス解決プロトコル テーブルの内容を一覧します。

utils network host

utils network host *name* [*server*]

シンタックスの説明

<i>name</i>	解決するホストの名前またはアドレス。
<i>server</i>	使用する代替ネーム サーバの名前。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決するために使用します。

例

```
admin:utils network host cisco.com
Local Resolution:
Nothing found

External Resolution:
cisco.com resolves to 198.133.219.25
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils network mtr	リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行します。
utils network ping	1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信します。
utils network tracert	リモート宛先への IP パケットをトレースします。

utils network mtr

`utils network mtr dest [count] [tos] [options]`

シンタックスの説明

<i>dest</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
<i>count</i>	システムが送信する ping の数を定義します。デフォルトの数は 43200 (12 時間) です。
<i>tos</i>	TOS フィールドの値。TOS フィールドの値の範囲は、0 ~ 255 です。デフォルトは 0 です。
<i>options</i>	ホスト名を数値として表示します。



(注)

時間はすべてミリ秒単位です。

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行するために使用します。

例

```
admin:utils network mtr 162.28.176.130
Host - tos=0x00 count=5
0 10.16.126.2          6.2    6.2    6.0    6.3
1 161.71.240.145     5.5    5.7    5.4    6.2
2 161.71.241.54      6.7    6.6    6.0    7.7
3 161.71.241.161     6.1    6.2    5.8    7.3
4 162.24.114.58      6.2    6.5    6.2    7.2
5 162.28.173.26      8.4    8.4    8.3    8.6
6 162.28.176.130     6.6    5.8    3.8    6.6
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>utils network host</code>	ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決します。
<code>utils network ping</code>	1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信します。
<code>utils network tracer</code>	リモート宛先への IP パケットをトレースします。

utils network ping

utils network ping *dest* [*count*]

シンタックスの説明	<i>dest</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
	<i>count</i>	カウントの値。デフォルト値は 2 です。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信するために使用します。

例

```
admin:utils network ping www.cisco.com count 5
PING www.cisco.com (198.133.219.25) from 172.22.119.166 : 56(84) bytes of data.
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=1 ttl=246 time=0.837 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=2 ttl=246 time=0.962 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=3 ttl=246 time=1.04 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=4 ttl=246 time=0.635 ms
64 bytes from 198.133.219.25: icmp_seq=5 ttl=246 time=0.666 ms
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils network host	ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決します。
	utils network mtr	リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行します。
	utils network tracer	リモート宛先への IP パケットをトレースします。

utils network tracert

コマンド構文

```
utils network tracert dest
```

シンタックスの説明

<i>dest</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
-------------	-----------------------

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

リモート宛先への IP パケットをトレースするために使用します。

例

```
admin:utils network tracert 172.24.115.101
traceroute to 172.24.115.101 (172.24.115.101), 30 hops max, 38 byte packets
 1  vns-gateway1-119 (172.22.119.1)  0.599 ms  0.439 ms  0.381 ms
 2  172.24.115.189 (172.24.115.189)  0.358 ms  0.242 ms  0.231 ms
 3  sjc20-lab-gw2 (172.24.115.101)  0.347 ms *  0.514 ms
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils network host	ホスト名をアドレスに、またはアドレスをホスト名に解決します。
utils network mtr	リモート宛先方向のすべてのノードに ping を実行します。
utils network ping	1 つ以上の ping パケットをリモート宛先に送信します。

utils ntp config

utils ntp config

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示するために使用します。

例

```
admin:utils ntp config
servers (this machine is a NTP client):
  171.68.10.150      ntp-sj1.cisco.com
clients (this machine is a NTP server):
  client 192.107.140.50      ntp-test.cisco.com
  range  192.107.141.0      255.255.255.0
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils ntp server add	新しい NTP サーバを追加します。
utils ntp server delete	既存の NTP サーバを削除します。
utils ntp status	アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示します。

utils ntp server add

`utils ntp server add address`

シンタックスの説明	<i>address</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
------------------	----------------	-----------------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 新しい NTP サーバを追加するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) を使用していない場合 (非 CUCM モード) にのみ使用可能です。

例

```
admin:utils ntp server add 64.104.193.13
Adding the server 64.104.193.13
A restart of the call services has been requested. If you are in a call,
the request will be executed at the end of the call
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils ntp config	このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示します。
	utils ntp server delete	既存の NTP サーバを削除します。
	utils ntp status	アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示します。

utils ntp server delete

`utils ntp server delete address`

シンタックスの説明	<i>address</i>	ドット付き IP アドレスまたはホスト名。
------------------	----------------	-----------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 既存の NTP サーバを削除するために使用します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:utils ntp server delete 64.104.193.13
Deleting the server 64.104.193.13
A restart of the call services has been requested. If you are in a call,
the request will be executed at the end of the call
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils ntp config	このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示します。
	utils ntp server add	新しい NTP サーバを追加します。
	utils ntp status	アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示します。

utils ntp status

utils ntp status

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 0

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン アプライアンスにおける NTP クライアントの現在のステータスを表示するために使用します。

例 次の例は、NTP クライアントの同期外れを示しています。

```
admin:utils ntp status
ntpd (pid 10561) is running...
  remote          refid          st t when poll reach  delay  offset  jitter
=====
ntp-sjl.cisco.c .GPS.              1 u   3   64   1   5.885  -0.091  0.008

unsynchronised
  time server re-starting
  polling server every 16 s

current time is : Mon Jan 31 12:01:38 PST 2005

example for in sync:
ntpd (pid 10561) is running...
  remote          refid          st t when poll reach  delay  offset  jitter
=====
*ntp-sjl.cisco.c .GPS.              1 u   2   64   77   5.865   0.554  0.057

synchronised to NTP server (171.68.10.150) at stratum 2
  time correct to within 188 ms
  polling server every 64 s

current time is : Mon Jan 31 12:14:35 PST 2005
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils ntp config	このマシン上の NTP クライアントとサーバの現在の設定を表示します。
	utils ntp server add	新しい NTP サーバを追加します。
	utils ntp server delete	既存の NTP サーバを削除します。

utils service list

utils service list [*service*]

シンタックスの説明	<i>service</i>	特定のサービスを選択するために使用します。
------------------	----------------	-----------------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	すべてのサービス ステータスを取得するために使用します。
-------------------	------------------------------

例	admin:utils service list
----------	--------------------------

```

Service           State
-----
System_Log        [Running]
Appl_Log           [Running]
DHCP_Srvr         [Running]

```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils service restart	サービスを再開します。
	utils service start	サービスを開始します。
	utils service stop	サービスを停止します。

utils service restart

コマンド構文

utils service restart *service*

シンタックスの説明

<i>service</i>	再開するサービスを指定します。
----------------	-----------------

コマンドモード

Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

サービスを再開するために使用します。

例

```
admin:utils service restart System_Log
System_Log  Restarting...done
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils service list	すべてのサービス ステータスを取得します。
utils service start	サービスを開始します。
utils service stop	サービスを停止します。

utils service start

utils service start *service*

シンタックスの説明	service	開始するサービスを指定します。
------------------	---------	-----------------

コマンド モード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	サービスを開始するために使用します。
-------------------	--------------------

例	admin:utils service start System_Log System_Log Starting...done
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	utils service list	すべてのサービス ステータスを取得します。
	utils service restart	サービスを再開します。
	utils service stop	サービスを停止します。

utils service stop

`utils service stop service`

シンタックスの説明	service	停止するサービスを指定します。
------------------	---------	-----------------

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル: 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	サービスを停止するために使用します。
-------------------	--------------------

例	admin:utils service stop System_log System_Log Stopping...done
----------	---

関連コマンド	コマンド	説明
	utils service list	すべてのサービスステータスを取得します。
	utils service restart	サービスを再開します。
	utils service start	サービスを開始します。

utils system presentation

utils system presentation

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システムのプレゼンテーション デバイスにアクセスするために使用します (プレゼンテーション デバイスが存在する場合)。

例 次の例は、プレゼンテーション デバイスが存在しないことを示しています。

```
admin:utils system presentation
The unit is not present
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils system reset factory	システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行します。
utils system restart	システムを再起動します。
utils system switch-version	システムにインストールされている別のロードに切り替えます。

utils system reset factory

utils system reset factory

シンタックスの説明 なし

コマンド モード Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行するために使用します。

例

```
admin:utils system reset factory
Are you sure you want to set the system back to the factory defaults ?
This will cause a system restart !
Enter "yes" to reset to factory defaults and restart or any other key to abort
continue: yes
The factory reset is now in progress - this will take a few moments...

The system is going down for restart NOW!
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils system presentation	システムのプレゼンテーション ユニットへのアクセスを許可します (プレゼンテーション ユニットが存在する場合)。
	utils system restart	システムを再起動します。
	utils system switch-version	システムにインストールされている別のロードに切り替えます。

utils system restart

utils system restart [force | wait]

シンタックスの説明	force	強制的に再起動します。
	wait	コール中の場合に、コールの終了時に再起動するようにスケジュールを設定します。

コマンドモード	Admin
	コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システムを再起動するために使用します。システムがコール中の場合、そのコールの終了時に再起動を実行します。すぐに再起動するために、force オプションを使用してこの設定を無効にすることができます。



(注) 他の任意のキーを押すと、再起動の手順が中断され、次のメッセージが表示されます。
The restart has been aborted.

例

```
admin:utils system restart
Are you sure you want to restart the system ?
Enter "yes" to restart or any other key to abort
continue: yes

The system is going down for restart NOW!
```

関連コマンド	コマンド	説明
	utils system presentation	システムの左ユニットへのアクセスを許可します(左ユニットが存在する場合)。
	utils system reset factory	システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行します。
	utils system switch-version	システムにインストールされている別のロードに切り替えます。

utils system switch-version

utils system switch-version [force | factory [1 | 2]]

シンタックスの説明

force	切り替えを強制的に実行します。
factory	工場出荷時のロードに切り替えます。
1	スロット 1 ロードに切り替えます (現在のロードが工場出荷時のロードである場合)。
2	スロット 2 ロードに切り替えます (現在のロードが工場出荷時のロードである場合)。

コマンド モード

Admin

コマンド権限レベル : 1

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.2	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

システムにインストールされている別のロードに切り替えるために使用します。システムがコール中の場合、そのコールの終了時に再起動が実行されます。すぐに切り替えるには、**force** オプションを使用します。



(注) 他の任意のキーを押すと、アプライアンスのバージョン切り替えの手順は中断され、次のメッセージが表示されます。

```
The system switch has been aborted.
```

このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を使用していない場合にのみ使用可能です。

例

```
admin:utils system switch-version
Are you sure you want to switch the system, this will cause a system restart ?
Enter "yes" to switch and restart or any other key to abort
continue: yes
Setting to slot 1 load ...

The system is going down for restart NOW!
```

関連コマンド

コマンド	説明
utils system presentation	システムの左ユニットへのアクセスを許可します (左ユニットが存在する場合)。
utils system reset factory	システムをリセットし、工場出荷時のデフォルト設定で実行します。
utils system restart	システムを再起動します。

■ `utils system switch-version`



GLOSSARY

Revised: July 3, 2008, OL-13676-03-J

C

Cisco Unified Communications Manager 企業のテレフォニー機能を、IP Phone やマルチメディア アプリケーションなどのパケットテレフォニー ネットワーク デバイスにまで拡張するアプリケーション。オープン型のテレフォニー アプリケーション インターフェイスにより、マルチメディア会議や対話形式のマルチメディア応答システムなどのサービスを実現できます。

D

Differentiated Services Code Point (DSCP; DiffServ コード ポイント) パケット分類を目的とする、IP パケットのヘッダー内のフィールド。

Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) ネットワーク ノードの名前をアドレスに変換するためにインターネット上で使用されるシステム。

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) ホストのアドレスが不要となった場合にそのアドレスを再利用できるように、IP アドレスを動的に割り当てるためのメカニズムを提供します。

I

IP アドレス TCP/IP ネットワーク上のデバイス識別子。

M

Media Access Control (MAC; メディア アクセス 制御) アドレス ネットワークの各ノードを一意に識別するハードウェア アドレス。

R

Request for Comments (RFC; コメント要求) インターネットに関する情報を伝達する主要な手段として使用されるドキュメント群。一部の RFC は、IAB によってインターネット標準に指定されています。

S

Session Initiation Protocol (SIP; セッション開始プロトコル) IP ネットワーク経由の音声コールおよびマルチメディア コールのセットアップをシグナリングするためのプロトコル。

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ほとんど TCP/IP ネットワークだけで使用されるネットワーク管理プロトコル。ネットワーク デバイスを監視および制御し、設定、統計情報の収集、パフォーマンス、およびセキュリティを管理する手段として使用されます。

T

Trivial File Transfer Protocol (TFTP; 簡易ファイル転送プロトコル) あるコンピュータから別のコンピュータにネットワーク経由でファイルを転送できるようにする FTP の簡素化バージョン。通常はクライアント認証（たとえば、ユーザ名やパスワード）を使用しません。

V

VLAN ID VLAN の識別情報。IEEE 802.1Q 標準によって使用されます。12 ビットであるため、4096 個の VLAN を識別できます。

か

画面解像度 プラズマ ディスプレイ上のイメージにおいて実現され得るきめの細かさ。

け

蛍光灯 電気を使用して気体中の水銀蒸気を励起することにより、短波の紫外線を発生させるエネルギーを生じるランプ。この紫外線によって蛍光物質が蛍光を発し、可視光が生成されます。

こ

コーデック コーダ / デコーダの短縮形。通常、パルス符号変調を使用してアナログ信号をデジタル ビット ストリームに変換し、デジタル信号をアナログ信号に戻す集積回路デバイス。

し

自動応答 着信コールに自動的に応答するための電話機の設定。

シングル システム 1 つのディスプレイを特徴とする Cisco TelePresence 1000 システム。

せ

- セカンダリ コーデック** 大規模な Cisco TelePresence 3000/3200 システムにおいてプライマリ コーデックを補佐するコーデック。セカンダリ コーデックは、オーディオおよびビデオの信号を処理し、プライマリ コーデックに送信します。プライマリ コーデックは、それらの信号を多重化して単独の RTP ストリームにします。
- 全二重モード** 双方向同時のデータ伝送。

て

- デフォルト ゲートウェイ** 別のネットワークへのアクセス ポイントとして機能する、コンピュータ ネットワーク上のルータ。

と

- トリプル システム** 3 つのディスプレイを特徴とする Cisco TelePresence 3000 システムまたは CTS 3200 システム。

は

- 白熱灯** 細いフィラメントに電流を流すことにより、フィラメントを加熱して発光させるランプ。
- 半二重モード** 一度に一方向のデータ伝送。

ひ

- 光の温度** 可視光を説明する理論的な手段であり、可視光の色相を、加熱された黒体放射体と比較することによって決定されます。ランプの色温度は、加熱された黒体放射体がランプの色相と一致する温度 (ケルビン単位) です。
- ビットレート** ビットが伝送される速度。通常は、1 秒あたりのビット数で表現されます。

ふ

- プライマリ コーデック** プライマリ コーデックとは、プライマリ ユニットの指します。セカンダリ ユニットと通信し、アプリケーション ネットワーク上でパケットを送受信します。ギガビット イーサネット スイッチが内蔵されています。たとえば、CTS 3000 システムまたは CTS 3200 システムの場合、プライマリ コーデックは 2 台のセカンダリ コーデック、多くのシステム コンポーネント、およびグラフィカル ユーザ インターフェイスを制御します。Cisco TelePresence 1000 の場合、プライマリ コーデックはすべてのシステム機能を制御します。

この用語集に含まれていない用語については、「[Internetworking Terms and Acronyms](#)」を参照してください。



INDEX

- A**
- About 機能 1-5
 - Address Book ウィンドウ 3-4
 - Apply ボタン 1-6
- C**
- Call Statistics ウィンドウ 5-2
 - CallManager Settings ウィンドウ 3-4
 - Cisco CallManager
 - 監視 1-3
 - 設定ファイルの場所 3-4
- D**
- Device Information
 - System Information Details 2-4
 - ステータス情報の詳細 2-6
 - ハードウェア / ソフトウェア情報 2-3
 - DHCP 設定 3-3
 - Display 3-8
 - DSCP、オーディオとビデオの設定 3-5
- H**
- Hardware Setup ウィンドウ 4-3
 - Help 機能 1-5
- I**
- IP Phone
 - 監視 1-3
 - トラブルシューティング 4-20
 - ~の手動設定 3-5
 - IP Settings ウィンドウ 3-3
 - IP アドレス
 - Cisco TelePresence 3-3
 - 会議室 3-4
 - 固定 3-3
 - ダイナミック 3-3
- L**
- Log Files ウィンドウ 4-16
 - Logout 機能 1-5
- M**
- MAC アドレス
 - Cisco TelePresence 3-3
- N**
- Network Settings ウィンドウ 3-3
 - Network Statistics ウィンドウ 5-2
 - Network ウィンドウ 4-19
- R**
- Reset ボタン 1-6
- S**
- SIP
 - 応答メッセージのタイプ 4-18
 - 要求メソッド 4-17
 - SIP Messages ウィンドウ 4-16
 - SNMP Settings ウィンドウ 3-6
 - System Restart ウィンドウ 4-20
 - Sytem Settings ウィンドウ 3-7
 - System Status ウィンドウ 1-3
- T**
- Telephony Settings ウィンドウ 3-5

- TFTP サーバ、設定 3-4
- V
- VLAN ID
 - Operational 3-3
 - 管理 3-3
- あ
- 明るさ、ディスプレイのイメージ 4-4
- い
- イーサネット接続、設定 4-19
- お
- オーディオ
 - コーデック統計情報 5-2
 - 設定 3-5
- か
- 回線伝送速度、設定 4-19
- カメラ
 - 監視 1-3
 - 調整 4-6
 - トラブルシューティング 4-7
- カメラの位置合せ 4-6
- け
- 言語、表示 3-7
- こ
- コーデック、～からの統計情報 5-2
- コール長、最大 3-5
- し
- 時間帯、選択 3-7
- システム 3-7
 - Days Display Not Active 3-7
 - Display On Duration 3-8
 - Display On Time 3-8
 - 再起動 4-20
 - ステータスの更新 1-3
 - タイプ 3-7
 - ナビゲーション 1-5
 - 品質 3-7
 - システムのナビゲート 1-5
- す
- スピーカ
 - テスト 4-8
 - トラブルシューティング 4-9
- そ
- 速度、イーサネット接続 4-19
- た
- 帯域幅、会議の品質と～ 3-7
- て
- ディスプレイ
 - 色の調整 4-4
 - 監視 1-3
 - テスト 4-4
 - トラブルシューティング 4-5
- デュプレックス、イーサネット設定 4-19
- 電話機の自動応答設定 3-5
- 電話帳、～への会議室の追加 3-4
- と
- トラップレシーバ、SNMP 3-6
- ね
- ネットワーク接続
 - トラブルシューティング 4-20
 - ～の速度の設定 4-19

は 表示 4-16

ハードウェア

- テスト 4-3
 - その他のデバイス 4-15
 - トラブルシューティング 4-3
- パケット伝送統計情報 5-2
- パスワード、変更 3-7

ひ

ビットレート、アダプタイズおよびネゴシエートされた 5-2

ビデオ

- コーデック統計情報 5-2
- 設定 3-5
- トラブルシューティング 4-22

ふ

フィールド、~内のデータ 1-6

プレゼンテーション デバイス

- テスト 4-11

ま

マイクロフォン

- テスト 4-9
- トラブルシューティング 4-10, 4-12

め

メッセージ

- SIP 4-16
- 検証 1-6
- メディア ポートの設定 3-6

ゆ

ユーザ名、設定 3-7

ろ

ログ ファイル

- ダウンロード 4-16